

# ライフスタイルに関する世論調査 調査結果報告書

2013年3月

独立行政法人 国立環境研究所



# ライフスタイルに関する世論調査 調査結果報告書

2013年3月

独立行政法人 国立環境研究所



## 前 書 き

本報告書は、独立行政法人 国立環境研究所環境計画研究室が、環境省研究総合推進費（課題番号[ZE-1202]「技術・社会に対する価値観の変化とリスク受容性に関する調査研究」（2012～2013年度））をうけて実施した、「ライフスタイルに関する世論調査」の結果をまとめたものです。実査は、2013年2月に、(株)サーベイリサーチセンターに委託して実施しました。

本プロジェクトは、2011年3月11日の東日本大震災によって大きく変化したと考えられる日本人の価値観、リスク認知、エネルギー選択などを総合的に把握するために実施されています。本調査は、この中でも、日本全国の成人男女を対象とする世論調査を実施することによってこれらの変化を定量的に把握することを目的としています。

本調査の結果は、時間を経ると共に変化する東日本大震災の衝撃を記録し、分析し、さらに今後の政策にいかしていくようにいたします。最後になりましたが、調査のご回答にご協力いただいた皆様には、お忙しいところお時間をいただきました。ありがとうございました。皆様のご回答の結果がこのようにまとまりましたので、ご覧いただければと思います。

2013年3月

独立行政法人国立環境研究所環境計画室 室長  
課題代表者  
青柳みどり



## 目 次

1. はじめに .....	3
2. 調査のあらまし .....	7
3. 調査結果 .....	13
4. 回答された方々の属性.....	43
5. おわりに .....	53
6. 集計結果一覧 .....	57
7. 調査票 .....	75



# 1. はじめに



## 1. はじめに

本報告書は、独立行政法人 国立環境研究所環境計画研究室が、環境省研究総合推進費（課題番号[ZE-1202]「技術・社会に対する価値観の変化とリスク受容性に関する調査研究」（2012～2013年度））をうけ実施した「ライフスタイルに関する世論調査」の結果をまとめたものです。実査は、2013年2月に、(株)サーベイリサーチセンターに委託して実施しました。

本プロジェクトは、気候変動問題と東日本大震災によって起きた放射能汚染について、そのリスクについての人々の認知と対応を把握するために、環境省の研究プロジェクトとして提案し採択された2年にわたるプロジェクトで、この報告書にかかる調査は、その初年度に実施されたものです。

調査は、日本に住む一般の人々の、東日本大震災後の生活や考え方、意見について、できるだけ定量的に把握することを目的として、計画されました。そのために、統計的な手法を用い、全国の自治体の協力を得て、調査対象の方々を3,000名選び、その3,000名の方々に、調査協力の依頼をし、専門の調査員がその方々のところに伺ってご意見を伺うという方式で行いました。普段、意見を表明する機会のない方々の意見をあえて伺うという事で、戸惑った方々も多くおられたかと思います。この場を借りてお詫び申し上げるとともに、ご回答をいただいた1,000名を超える方々に、この調査結果を公表してお礼したいと思います。

調査は、先に述べたとおり、気候変動問題と放射能汚染についての質問からなっています。この二つは、一見何の関係もないように見えますが、実は、原子力発電という現代の日本の動脈的な存在を通じて深く関連しています。東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故が起きる前までは、原子力発電は、日本の気候変動対策の大きな柱でした。これについては、現在、見直しが進んでいます。

原子力発電は、戦後、日本に導入されて以来、年々その全発電に対する比率を高め、東日本大震災直前においては、日本の全電源の25%を超える比率を占めていました（電気事業連合会ウェブサイト資料をご参照ください。

<http://www.fepec.or.jp/library/data/infobase/pdf/INFOBASE2012.pdf>）。

すでに、IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change:気候変動に関する政府間パネル)が報告書で述べているように、気候変動問題は顕在化しつつあり、その対策は短期的、長期的に本格的に取り組んでいかなければなりません。その際に、大震災前のように原子力発電をその柱としていくかどうかについては、これからの日本の重要な選択課題の一つです。我々のこれまでに築き上げた生活のレベルを保ちながら、温室効果ガスの排出を減らしていくために、我々はどのような選択をしていくべきなのか、大震災前と同様に原子

力発電をその柱としていくのか、もしくは他の道を模索すべきなのか。本調査は、その選択にあたっての一つの資料としての位置づけにあります。

本調査の結果を、ご活用いただければ幸いです。

## 2. 調査のあらまし



## 2. 調査のあらまし

この調査は、環境省総合研究推進費をうけて独立行政法人国立環境研究所が企画・分析を行ったものである。実査にあたっては、(株)サーベイリサーチセンターに委託して実施した。

### (1) 調査目的

気候変動問題と東日本大震災によって起きた放射能汚染のリスクについて、日本に住む人々の認知と対応を把握し、今後の環境対策の資料とすることを目的に実施した。

### (2) 調査名称

「ライフスタイルに関する世論調査」

### (3) 調査設計

- ① 調査対象 満20歳以上～80歳未満の男女個人3,000人
- ② 抽出方法 層化二段無作為抽出法

〔層化〕

1) 日本全国を、都道府県を単位として次の11地域に分類した。

地域	都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
東山	山梨県、長野県、岐阜県
東海	静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
北九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州	熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

2) 各地域内において、人口規模に応じて次のように分類した。

- ・政令指定都市
- ・人口 20 万人以上の市
- ・人口 10 万人以上の市
- ・人口 10 万人未満の市
- ・町村

(注) ここでいう市とは、平成 24 年 4 月 1 日現在市制施行の地域を指す。

[標本数の配分]

各地域・人口規模の層における 20 歳以上人口（平成 24 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳登録者数）より、150 地点を比例配分し、1 地点あたり 20 標本を設定した。

[抽出]

- 1) 調査地点は、平成 22 年度国勢調査時に設定された調査区を基本単位として使用した。
- 2) 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上割当てられた層については、
$$\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
を算出し、等間隔抽出法によって当該番目が含まれる調査区を抽出して抽出の起点とした。
- 3) 地点抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードに従った。
- 4) 調査地点における対象者は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法により抽出した。

(注) 東日本大震災により被災し居住に制限のかかった地域は、調査に含めていない。

- ③ 実施期間 2013 年 2 月 9 日～2 月 24 日
- ④ 調査方法 調査員による個別訪問聴取法

#### (4) 調査結果

- ① 回収数 (率) 1,121 (37.4%)
- ② 不能数 (率) 1,879 (62.6%)
- ③ 不能内訳 (率)

転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
67 (2.2%)	90 (3.0%)	806 (26.9%)	98 (3.3%)	758 (25.3%)	60 (2.0%)

#### (5) 調査主体

独立行政法人 国立環境研究所 (環境省総合研究推進費 ZE-1202 「技術・社会に対する価値観の変化とリスク受容性に関する調査研究」による)

#### (6) 調査実施

株式会社サーベイリサーチセンター

#### (7) 報告書の見方

本報告書を読む際の留意点を以下に示す。

- ① 比率は全て百分率 (パーセンテージ) で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して計算した。このため、百分率 (パーセンテージ) の合計が 100%にならないことがある。
- ② 基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は件数を 100%として計算した。
- ③ 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。
- ④ 図表、本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
- ⑤ 該当がない場合は、図表中で、「0.0」と表記するか、又は省略している。



### 3. 調查結果



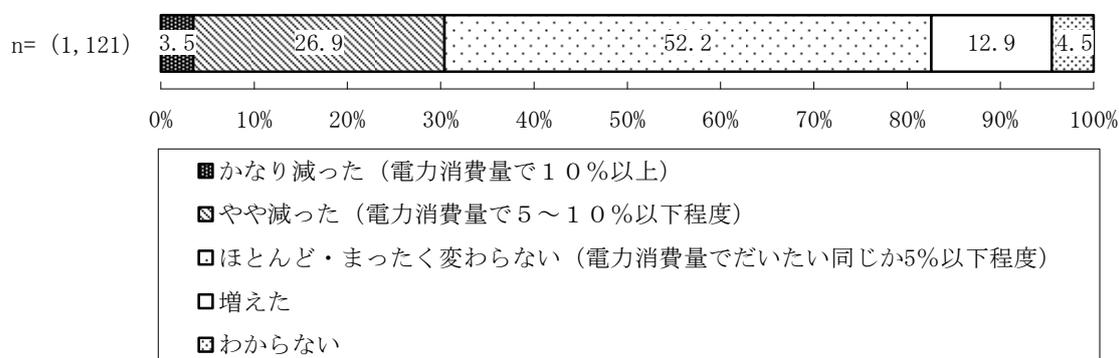
### 3. 調査結果

#### (1) 東日本大震災に起因する省エネ行動について

これからの日本人のライフスタイルを考える際に、特にここ数年の間は、原子力発電所の再稼働の見通しが見えないことを考慮すると、家庭におけるエネルギー、特に電力消費について考えていく必要がある。そこで、本調査ではまず、東日本大震災に起因する省エネ行動について聞いた。

**Q 1. あなたのご家庭では、最近1か月間の電気使用量は、東日本大震災前の同じ時期と比較して、増減はありましたか。この中で最も近いものを1つだけお答えください。**

(調査数)

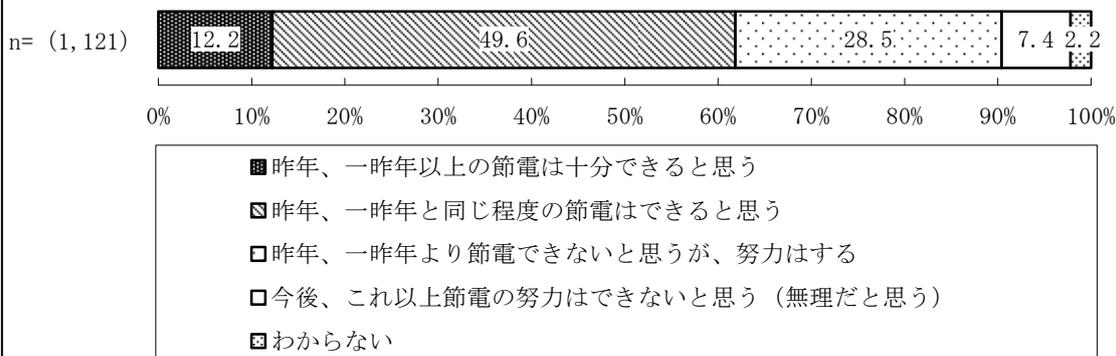


まず、Q 1 では、東日本大震災前の同じ時期（2月頃）と比較した最近1ヶ月の電気使用量について聞いた。「かなり減った」とする回答者は3.5%、26.9%が「やや減った」と回答し、あわせて30.4%が「減った」と回答した。一方で過半数の52.2%は、「ほとんど・全く変わらない（電力消費量で代が同じか5%以下程度の減少）」と回答した。

**Q 2. 東日本大震災による原子力発電所の全国的な停止で、昨年、一昨年と各ご家庭に節電の要請がありました。これから数年にわたって同様の状況が続く可能性もあります。**

今後の節電への取り組みについて、あなたのご家庭では、この中のどれにあてはまりますか。もっとも近いものを1つだけお答えください。

(調査数)



Q2では、今後の節電への取り組み意志について聞いたものであるが、「昨年、一昨年以上の節電は十分できると思う」が12.2%、約半数の49.6%が、「昨年、一昨年と同じ程度の節電はできると思う」と回答した。これが、昨年、一昨年と省エネに努力した世帯が、限界を感じての回答かどうかをみるために、この2つの回答のクロス集計をとったものが図3である。

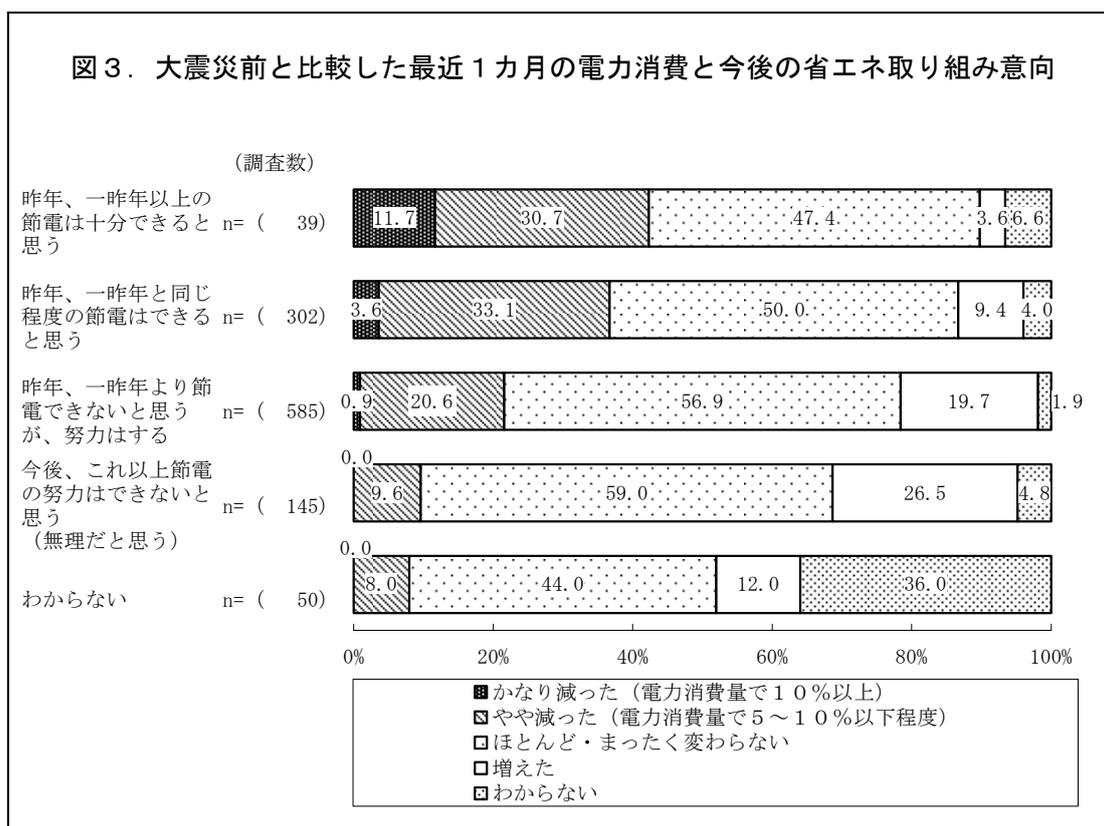
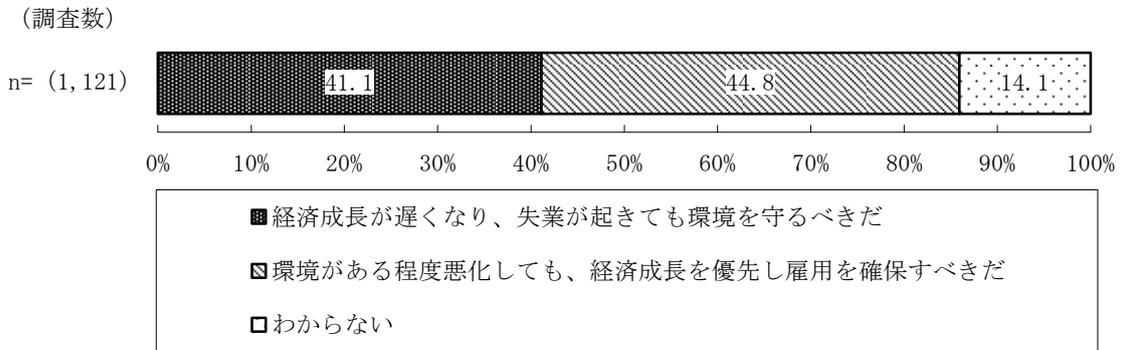


図3によると、昨年、一昨年に既に電気使用量を減らしたグループが、今後の省エネの取り組み意向として、「昨年、一昨年以上の節電は十分できる」もしくは「昨年、一昨年と同じ程度の節電はできる」と回答し、昨年、一昨年に電気使用量を減らすことのできなかつた回答者ほど、これ以上の努力はできないと回答する傾向にあることがわかる。つまり、省エネに対し積極的に取り組んできた世帯が節約疲れしているということではなく、さらに積極的に取り組もうという意向である一方、これまでに省エネができなかつた世帯においても将来的に取り組もうという世帯があることが分かる。

(2) 環境保全と経済成長

Q 3. 環境と経済成長の関係について、次の2つの考え方が良く比較されます。あなた個人のお考えはどちらに近いですか。



Q 3については、これまで各種調査において繰り返し用いられてきた設問である。

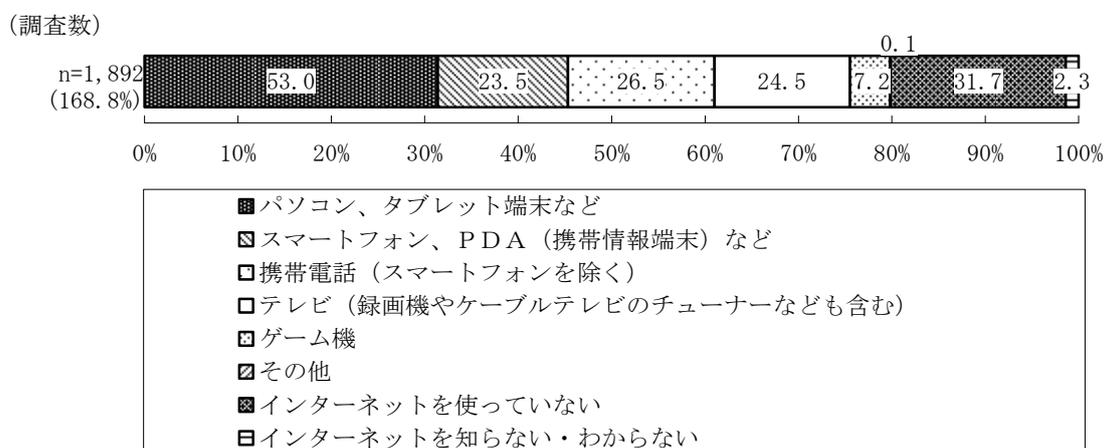
41.1%が「経済成長よりも環境保全」、44.8%が「環境よりも経済成長と雇用」を選択しており、大きな差はみられなかった。

### (3) インターネット使用状況について

最近は、新聞などはほとんど各社無料でウェブサイトを読むことができ、テレビニュースなども、ウェブサイトと連動している場合も多い。また各通信社も、無料でウェブ上でニュースを提供している。これらの情報をさらにまとめて提供しているサイトなどもある。各種調査において、使用状況が拡大しているインターネットについて、回答者の使用状況を把握するひとつとして機器について聞いた。

では、ここからは日頃、どの程度いろいろな情報に接していらっしゃるかについてお聞きいたします。

Q4. あなたが、インターネットをお使いの際利用している機器は何ですか。ご自宅・職場にかかわらず、この中からすべてお答えください。(M. A.)



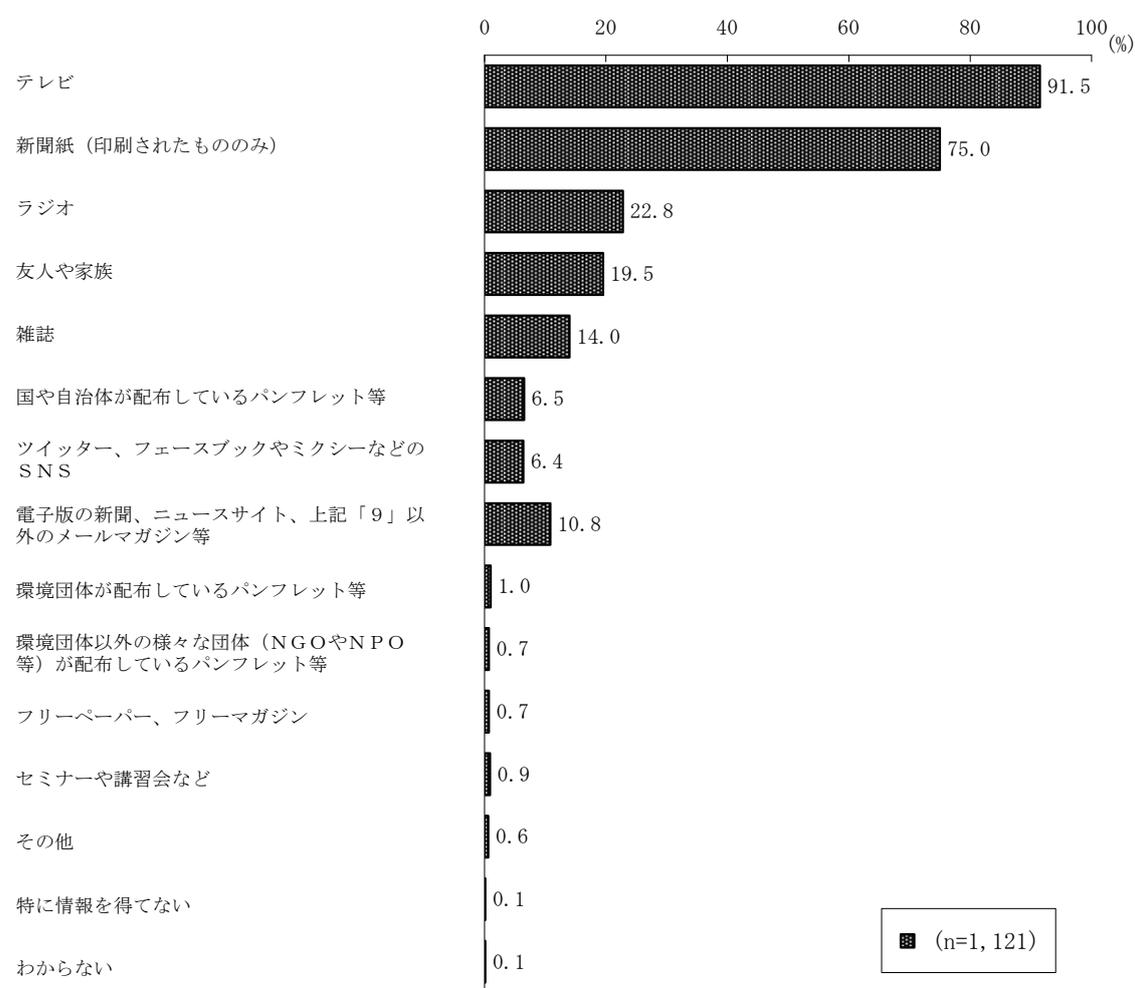
Q4においては、「M. A. (=複数回答)」であり、1名の回答者が複数の回答をしている。軸の100%は、全回答数(1,892)に対する割合を示し、各選択肢の数字は、回答者数(1,121)に対する割合を示す。

パソコン・タブレット端末などをインターネット使用に使っているのは全回答者の53.0%であり、回答数にすると約30%程度であることが分かる。次に多いのが、31.7%の「インターネットを使っていない」の回答者であり、次に多いのが26.5%の「携帯電話(スマートフォンを除く)」である。スマートフォンは23.5%で5番目である。

#### (4) 環境問題とその情報源について

次は環境問題を含む社会の出来事一般についての情報源について聞いた。

Q5. あなたは、環境問題を含む社会の出来事一般についてどこから情報を得ていますか。主なものを3つまであげてください。(M. A.)



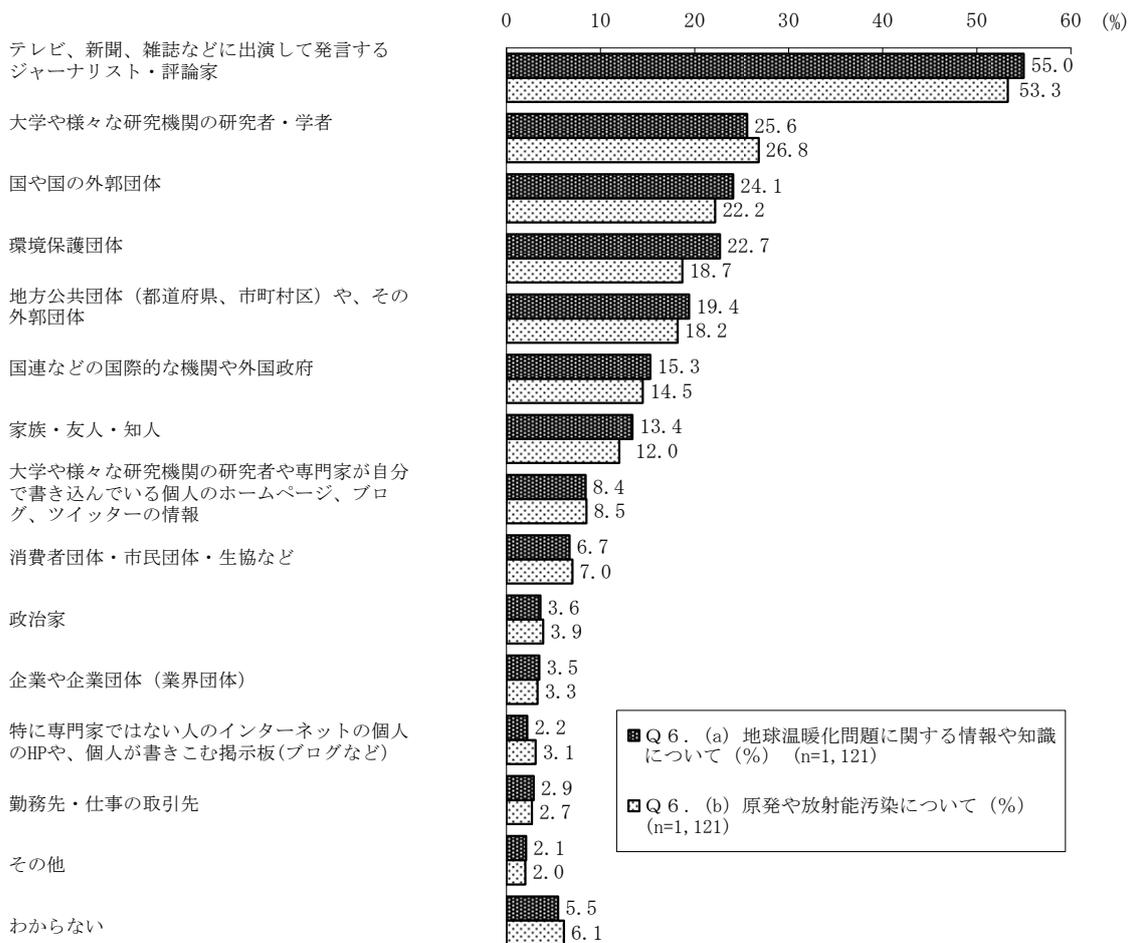
最も多いのが、回答者の90%以上が選んだテレビであり、75.0%の新聞紙(印刷されたもの)、22.8%のラジオ、19.5%の友人や家族、14.0%の雑誌とつづき、10.8%が電子版の新聞やニュースサイトと回答した。インターネット関連は、日本人の成人全体としてみると、まだ従来型のマスメディアに比べると比重は小さいということが分かる。

(5) 信頼できる情報源について

東日本大震災が起きた 2011 年 3 月 11 日以降、しばらくはテレビ番組も新聞もすべて東日本大震災関連のニュースばかりとなった。その中で、新しくつかわれるようになったインターネット経由の情報手段である様々な SNS (Facebook や twitter など) が大きな注目を浴びた。しかしながら、その情報の中には、いわゆる「デマ」に分類されるものなど様々な情報が含まれていたという問題もあった。

ここでは、まず、「信頼できる情報源」として 13 の項目をあげ、「a. 地球温暖化」と「b. 原発や放射能汚染」の 2 つの問題について、それぞれ 3 つまで選んでもらった。

**Q 6. 普段の情報源について伺ってきましたが、そこではジャーナリストや記者、専門家や評論家、政府関係者や団体が様々な情報や知識を掲載しています。次の情報源のうち、どこからの情報が最も信頼できると思いますか。「(a) 地球温暖化問題に関する情報や知識」と「(b) 原発や放射能汚染」のそれぞれについて、信頼できると思うものを、次の中から 3 つまでお答えください。(M. A.)**



2つの問題について、ほぼ似通った回答の傾向であるので、まとめて傾向を見ると、最も選択されたのが「テレビ、新聞、雑誌などに出演して発言するジャーナリスト・評論家」でそれぞれ55.0%と53.3%と過半数を占めた。次が「大学や様々な研究機関の研究者・学者」で25.6%、26.8%、「国や国の外郭団体」が24.1%、22.2%、「環境保護団体」22.7%、18.7%、「地方公共団体など」19.4%、18.2%と続く。

インターネット関連の選択肢も、全体としては大きくないが、「特に専門家ではない人のインターネットの個人のホームページや、個人が書きこむ掲示板(ブログなど)」2.2%、3.1%、「大学や様々な研究機関の研究者や専門家が自分で書き込んでいる個人のホームページ、ブログ、ツイッターの情報」が8.4%、8.5%と10%近い数字を得ている。

決して専門家とは限定できない人を含む「テレビ、新聞、雑誌などに出演して発言するジャーナリスト・評論家」が信頼できる情報源として過半数を占めたことは、解説や評価に当たって科学と技術の専門知識が必要な環境や大震災、津波、原子力発電所の事故などの事象について、マスメディアの役割は無視できないほど大きいということの意味しているといえるであろう。もし、中途半端な知識や情報のままマスメディアで発信するということがあったとすれば、それはそのまま人々に「信頼できる情報」として受け入れられてしまう可能性を示唆している。

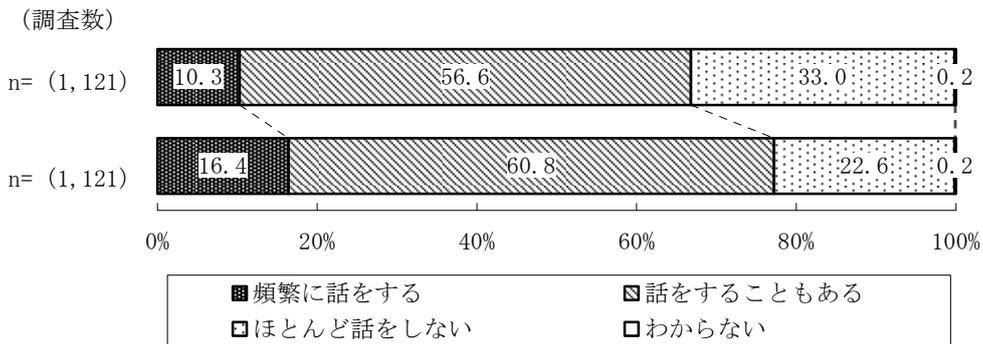
(6) 友人や家族との話題

前の設問において、信頼できる情報源として家族や友人が12～13%の回答を集めたが、実際にはどの程度頻繁に話題にしているのだろうか。以下に結果を示す。

Q7. あなたは、友人や家族などと、「地球温暖化問題」と「東日本大震災や関連する放射能汚染の問題」のそれぞれについて、どの程度話をしますか。

(a) まず、「地球温暖化問題」についてはいかがですか。

(b) では、「東日本大震災や関連する放射能汚染の問題」についてはいかがですか。

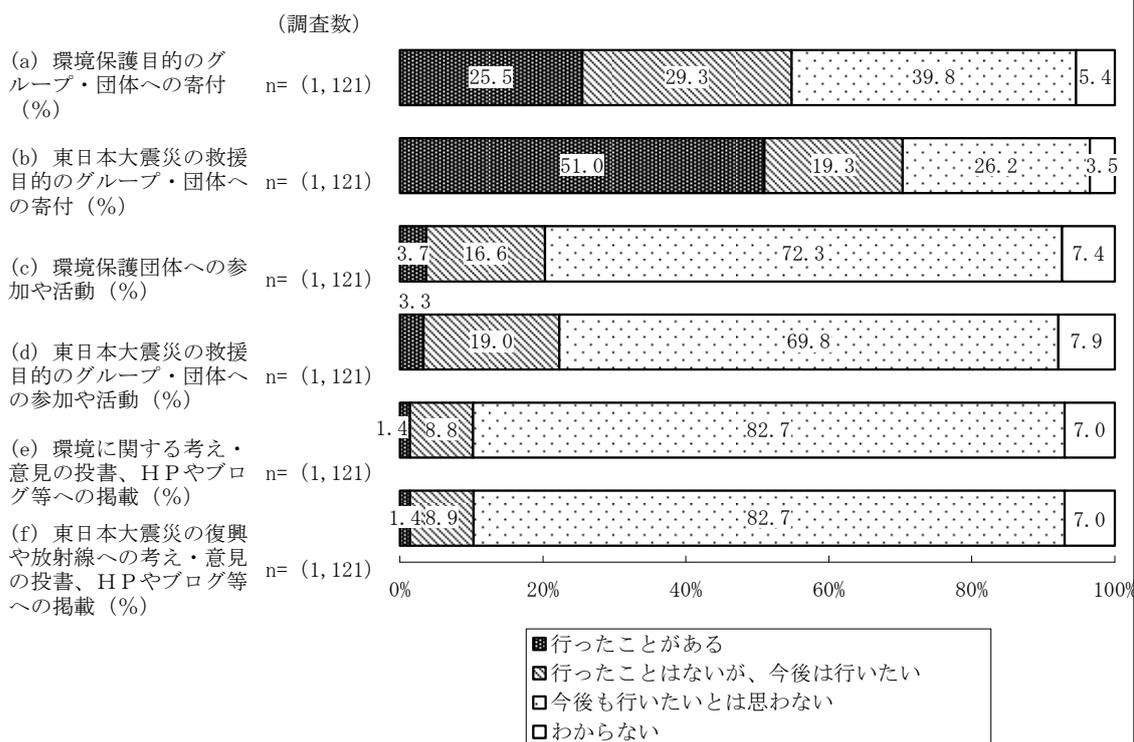


地球温暖化については10.3%が、東日本大震災関連では16.4%の回答者が「頻繁に話をする」と回答している。また、それぞれ56.6%、60.8%が「話をすることもある」と回答し、比較的家庭で話題になっていることが分かる。

(7) 環境を守るための取り組みへの参加

Q 8. 環境を守るための活動についておうかがいします。これから読みあげる行動は、実際に「行なったことがある」「行なったことはないが、今後は行ないたい」「今後も行ないたいとは思わない」の中では、どれにあてはまりますか。

- (a) 環境保護を目的としたグループや団体に寄付をすること
- (b) 東日本大震災の救援を目的としたグループや団体に寄付をすること
- (c) 環境保護団体のメンバーになったり、一緒に活動すること
- (d) 東日本大震災の救援を目的としたグループや団体のメンバーになったり、一緒に活動すること
- (e) 環境に関する考えや意見を新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNS (Face book や twitter など) にのせること
- (f) 東日本大震災の復興や放射線に関する考えや意見を新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNS (Face book や twitter など) にのせること



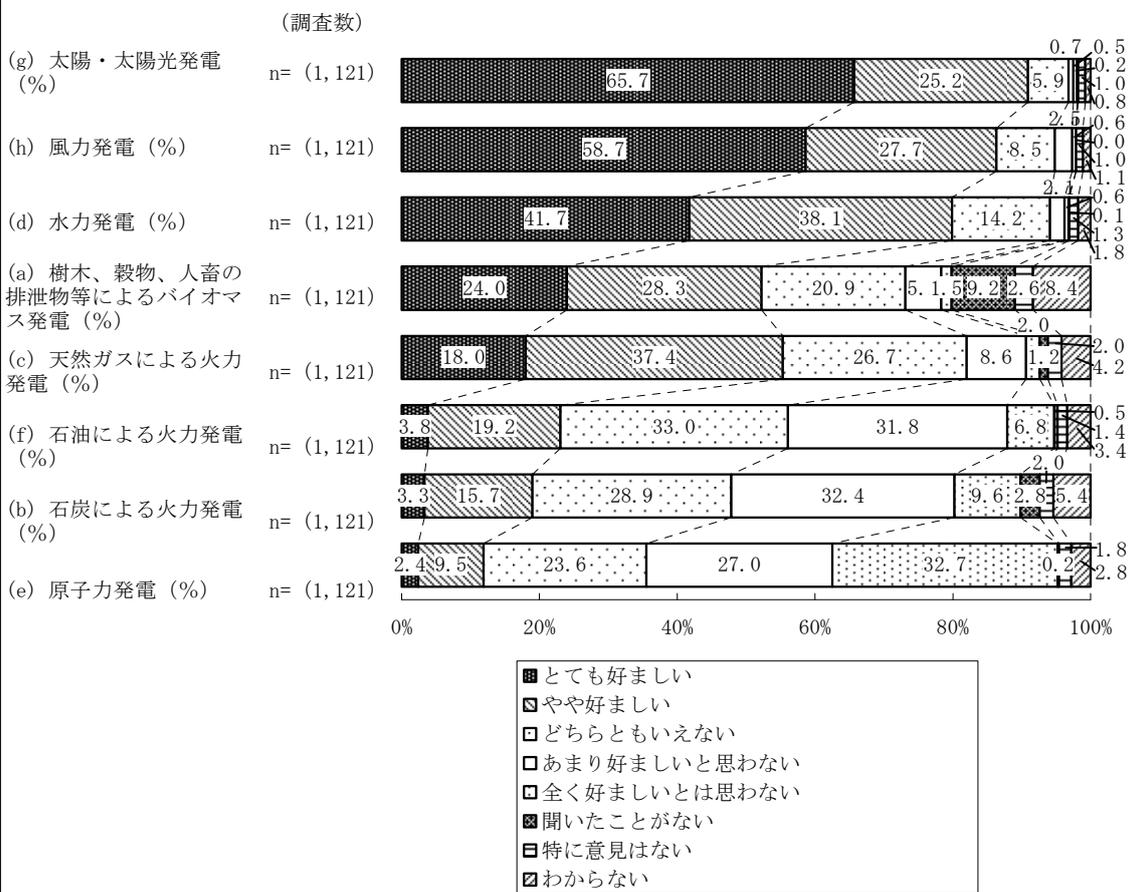
最も「行ったことがある」についての回答率が高かったのは、「(b) 東日本大震災の救援目的の団体への寄付」で51.0%であった。次が「(a) 環境保護団体への寄付」で25.5%であった。「(e) 環境に関する考えや意見を新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNS (Face book や twitter など) にのせること」と「(f) 東日本大震災の復興や放射線に関する考えや意見を新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNS

S (Face book や twitter など) にのせること」のいずれにおいても「考えや意見を新聞に投書したりホームページやブログ・SNS に載せること」については、行ったことがあったり、行いたいという回答は少ない。東日本大震災に関連する活動の方が、「環境」に関する諸活動よりも前向きな傾向がみられる。

(8) 様々なエネルギー源に対する好ましさの程度

Q9. 現在、電力発電には様々な発電方法・燃料がつかわれています。これから読み上げる発電方法・燃料のそれぞれについて、あなたはどの程度「好ましい」と思いますか。

- (a) 樹木、穀物、人畜の排泄物等によるバイオマス発電
- (b) 石炭による火力発電
- (c) 天然ガスによる火力発電
- (d) 水力発電
- (e) 原子力発電
- (f) 石油による火力発電
- (g) 太陽・太陽光発電
- (h) 風力発電



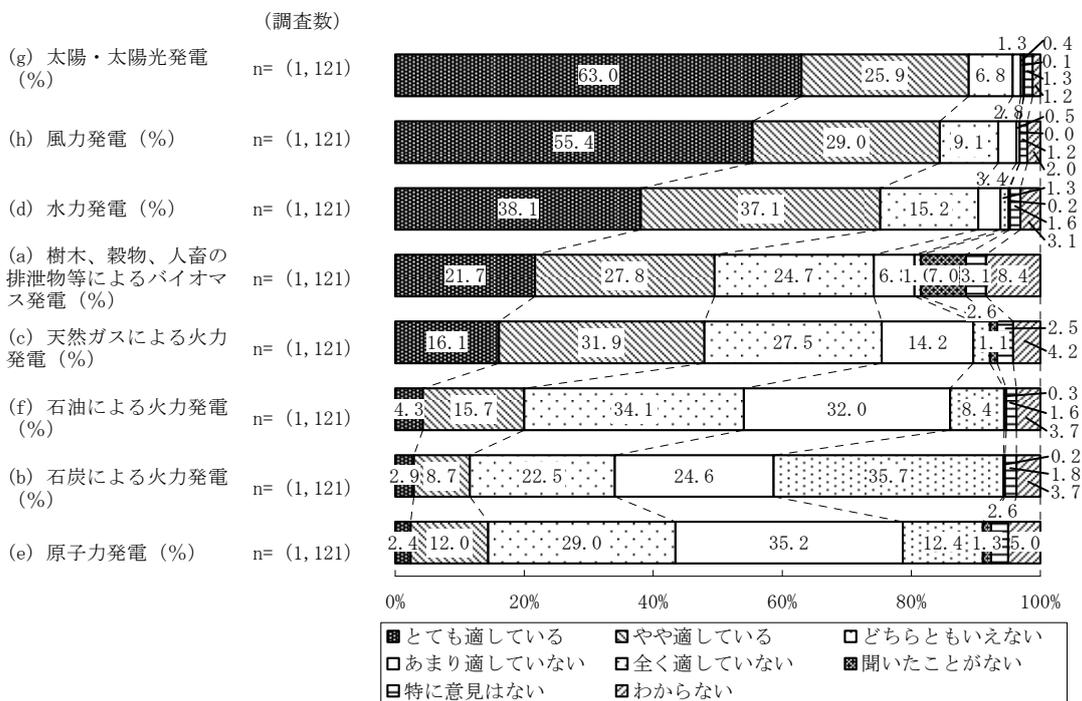
現在の日本で発電に使われている主なエネルギー源のそれぞれについて、「好ましさ」について聞いた。Q9では、「とても好ましい」の回答率の高い順に並べ替えて示した。太陽・太陽光が最も高く65.7%、風力58.7%、水力41.7%、バイオマス24.0%、天然ガス18.0%、石油3.8%、石炭3.3%、原子力2.4%と続く。太陽、風力、水力などの「再生可能エネルギー」を好ましいとする傾向にあることが分かる。

一方、逆に、「全く好ましいとは思わない」の回答率をみると、原子力で32.7%、石炭で9.6%、石油で6.8%となった。

(9) 様々なエネルギー源についての「安定した電力供給」を行うものとしての評価

Q10. 20年後から30年後の日本を考えた場合、これから読み上げる発電方法・燃料をそれぞれ評価すると、安定した電力の供給を確実に行うものとして、それぞれの程度適していると思いますか。

- (a) 樹木、穀物、人畜の排泄物等によるバイオマス発電
- (b) 石炭による火力発電
- (c) 天然ガスによる火力発電
- (d) 水力発電
- (e) 原子力発電
- (f) 石油による火力発電
- (g) 太陽・太陽光発電
- (h) 風力発電

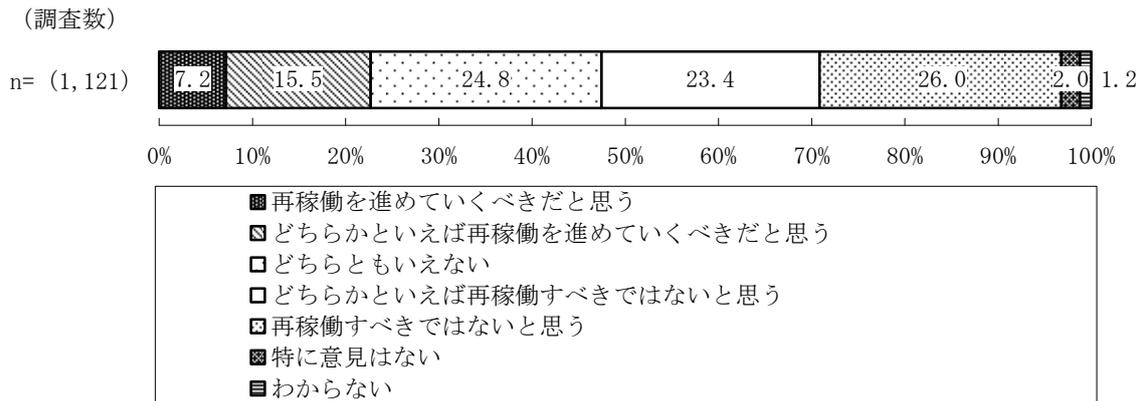


回答の傾向は前の設問の「好ましき」と大きくは変わらない。しかし、石炭と原子力の位置が入れ替わる結果となっている。回答者らは、前問と同じく、再生可能エネルギーを好ましいだけでなく安定した電力供給を行うものとして適しているという判断もしていることが分かる。

(10) 原子力発電所の再稼働について

原子力発電所の再稼働の是非について聞いた。結果は以下に示す通りである。

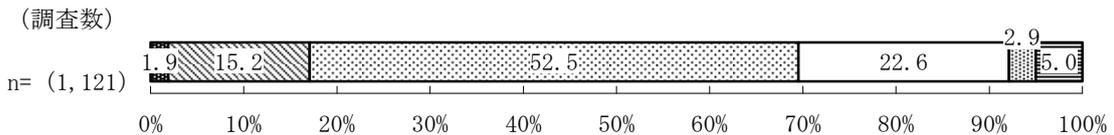
Q 11. では次に、日本国内の電力需要の今後の見通しを考えたときに、国内に今ある原子力発電所の再稼働を進めていくべきだと思いますか、それとも再稼働はすべきではないと思いますか。



「再稼働を進めていくべき」7.2%、「どちらかというに進めていくべき」15.5%、「どちらともいえない」24.8%、「どちらかといえば再稼働すべきではないと思う」23.4%、「再稼働すべきではないと思う」26.0%であった。最も多い回答は「再稼働すべきではない」(26.0%)であるが、大きくは、賛成(再稼働すべき7.2%+どちらかというに進めていくべき15.5%の合計22.7%)、と他の3つの選択肢で大きく4分割される結果となった。

(11) 今後の原子力発電所の比率について

Q 1 2. 日本では、東日本大震災前までは原子力発電の割合が増加傾向にありました。日本国内の電力需要をまかなっていくために、今後の原子力発電所について、今後どのようにしていくべきだと思いますか。次の中からご自身の考えに最も近いものひとつを選んでください。



- 原子力発電の発電比率はむしろ増加させるべきなので、新たな原子力発電所の新設をみとめていくべきだと思う
- 原子力発電の発電比率は維持すべきだと思うので、既設の原子力発電所を使い続けて、耐用年数になったら更新していくべきだと思う
- 原子力発電の発電比率は徐々に低下させるべきだと思うので、既設の原子力発電所を使い続けるが、耐用年数後は廃炉にしていすべきだと思う
- 現在ある原子力発電所はすべて廃炉にし、更新はすべきではないと思う
- 上のどれでもない
- わからない

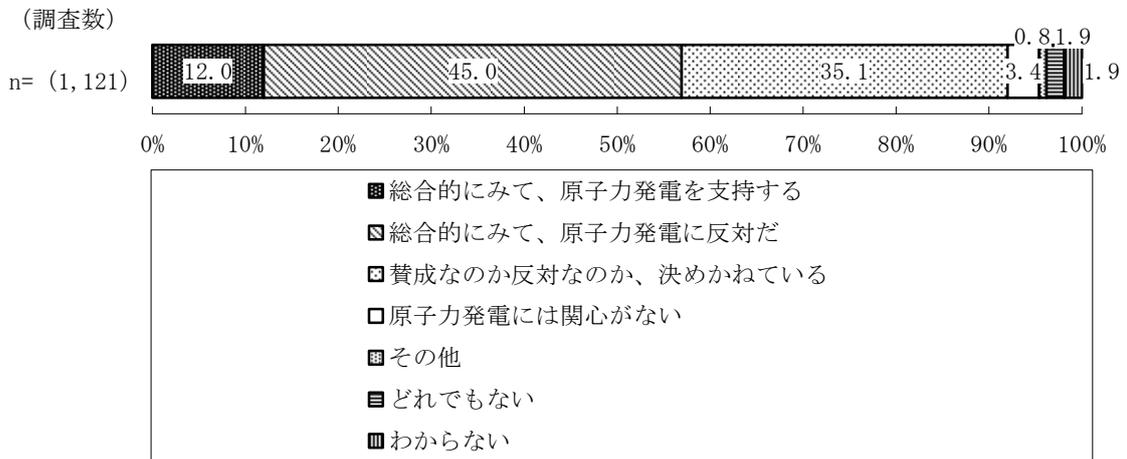
将来を見通した際の日本国内の電力需要にしめる原子力発電所のあり方について聞いた。結果は、過半数の 52.5%が「原子力発電の発電比率は徐々に低下させるべきだと思うので、既設の原子力発電所を使い続けるが、耐用年数後は廃炉にしていすべきだと思う」を選択した。

現時点では、原子力発電所による発電を前提として需要をまかなっているが、耐用年数まで使いながら徐々に比率を低下させていくという「ソフト・ランディング」が現時点で最も受け入れられている考えといえる。一方、新たな施設の建設や更新は、「原子力発電所の発電比率はむしろ増加させるべきなので、新たな原子力発電所の新設をみとめていくべきだと思う」(1.9%)と「原子力発電の発電比率は維持すべきだと思うので、既設の原子力発電所を使い続けて、耐用年数になったら更新していくべきだと思う」

(15.2%)を合計しても 16.7%と 2割に満たず、むしろ、「現在ある原子力はすべて廃炉にし、更新はすべきではない」(22.6%)の方が選ばれている。

(12) 原子力発電の支持

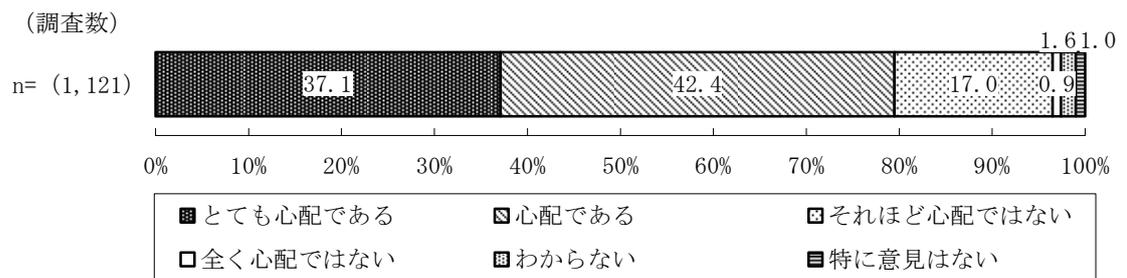
Q 1 3. 今日の日本の原子力発電についての次の文章で、どれが最もあなたの意見に近いですか。



単刀直入であるが、原子力発電に賛成か反対かを聞いた。最も多かった回答は「総合的にみて原子力発電に反対だ」の45.0%であった。次が「賛成なのか反対なのか、決めかねている」の35.1%である。「総合的にみて支持する」は12.0%であった。

(13) 原子力に対する心配度合い

Q 1 4. あなたは原子力をどのくらい心配していますか。



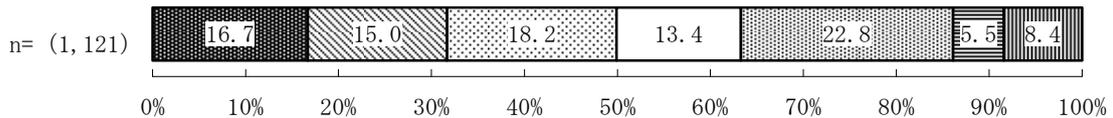
原子力発電所の再稼働をはじめとして、様々な問題は、原子力発電所についての事故などについてどれだけ心配しているかという事とも関連していると考えられる。そこで、心配の程度を聞いた。「とても心配である」37.1%、「心配である」42.4%とあわせて79.5%が心配であるとの回答であった。「それほど心配でない」が17.0%と続いたが、全く心配でないは1%に満たない。

#### (14) 原子力発電のリスク・便益比較

心配とともに、人々は便益をどのように評価しているのだろうか。リスクと便益を比較した文章を提示し選んでもらった結果が、以下である。

Q15. あなたがこれまでに、日本の原子力発電について知っていることや聞いたことを総合的に判断して、以下の文章のどれがあなたの考えに最も近いでしょうか。

(調査数)



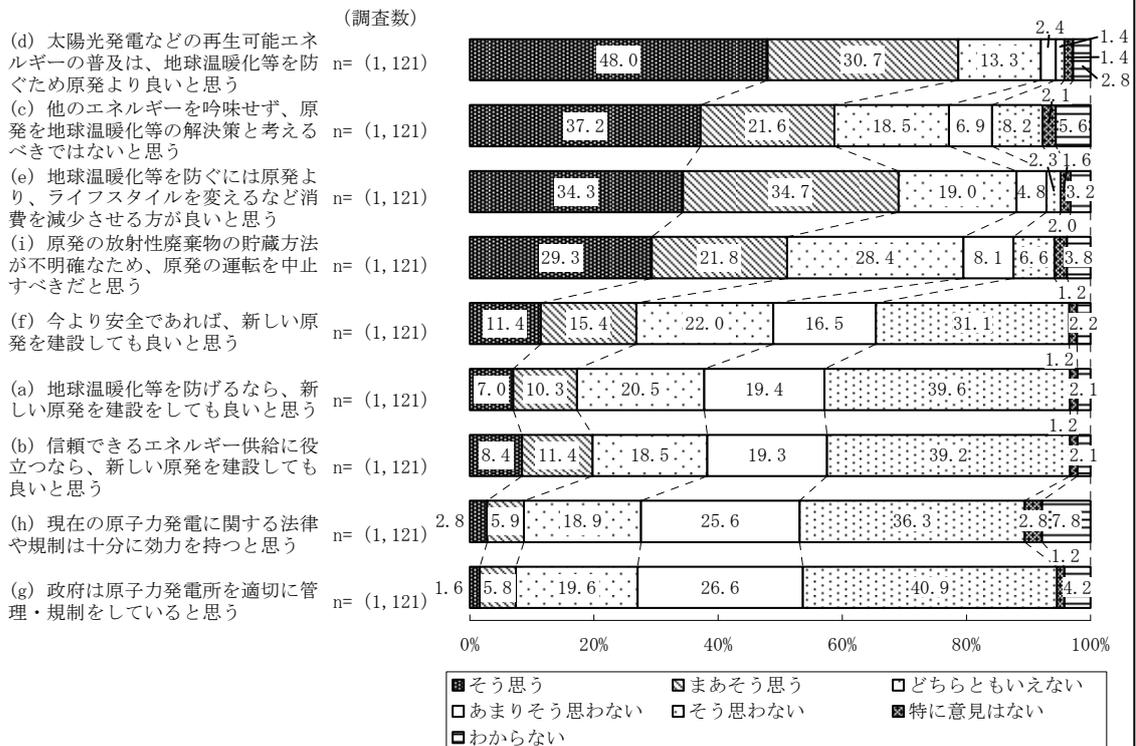
- 原子力発電による便益は、そのリスクを大きく上回る
- ▣ 原子力発電による便益は、そのリスクを若干上回る
- ▤ 原子力発電による便益とそのリスクはほぼ同じくらいである
- 原子力発電によるリスクは、その便益を若干上回る
- ▥ 原子力発電によるリスクは、その便益を大きく上回る
- どれもでない
- わからない

回答は大きくばらける結果になったことがわかる。ばらけた選択肢のうち、最も多いのが「原子力発電によるリスクは、その便益を大きく上回る」22.8%であり、「原子力発電による便益とリスクはほぼ同じくらい」の18.2%、「原子力発電による便益は、そのリスクを大きく上回る」16.7%と続く。大きくみて、31.7%の回答者は、「原子力発電の便益はリスクを上回る」と考えており、逆に36.2%の回答者は「原子力発電によるリスクは便益を上回る」と考えており、意見の分布は大きく二つに分かれている事を示していると考えられる。

(15) 今後の原子力発電所の対応について

Q 16. ここにあげるそれぞれの意見について、あなたはどのように思いますか。(a)から(i)のそれぞれの意見についてお答えください。

- (a) もし、地球温暖化・気候変動を防げるのなら、新しい原子力発電所の建設をしても良いと思う
- (b) 信頼できるエネルギー供給に役立つのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う
- (c) 他のすべてのエネルギーの選択肢を吟味せずに、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う
- (d) 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う
- (e) 地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う
- (f) もし、今より安全な原子力発電所が建設できるのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う
- (g) 日本政府は、原子力発電所について、適切な管理や規制をしていると思う
- (h) 現在の日本の原子力発電に関する法律や規制は原子力発電所を管理するために十分、効力を持つものだと思う
- (i) 原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う。



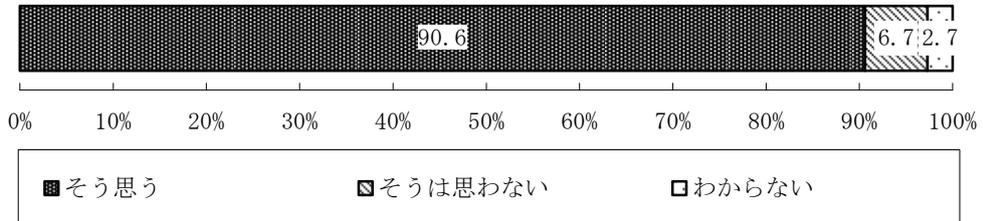
原子力発電について、9つの文章を示し、それぞれの文章について「そう思う」から「そう思わない」までの5段階（と、「特に意見はない」）で評価してもらった。グラフは、「そう思う」の回答率で並べ替えている。これによると、最も「そう思う」の回答率が高い順に(d)→(c)→(e)→(i)となっている。「(d)太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う」、「(c)他のすべてのエネルギーの選択肢を吟味せずに、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う」、「(e)地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う」「(i)原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う」であり、いずれも原子力発電以外の選択肢を吟味していくべきという意見であった。逆に、「そう思わない」の回答率が高かったのは、(a)(b)(h)(g)であり、いずれも原子力発電所の管理や規制に対するもの、更新に関するものであった。

(16) 最近の地球上の気候の変化について

Q 17. 話は変わりますが、あなたご自身の考えとして、最近、地球上の気候がかわってきていると思いますか。

(調査数)

n= (1, 121)

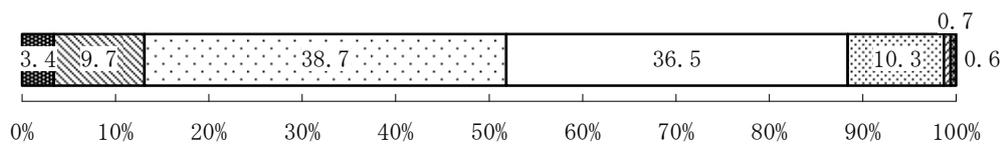


Q 17で「1. そう思う」と答えた方に

Q 18. 気候がかわってきている原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いのは以下のどれでしょうか。

(調査数)

n= (1, 016)



- 全く自然現象によるものだ
- おおかたは自然現象に原因がある
- 一部は自然現象、また一部は人間の活動に原因がある
- おおかたは人間の活動に原因がある
- 全く人間の活動に原因がある
- 特に意見はない
- わからない

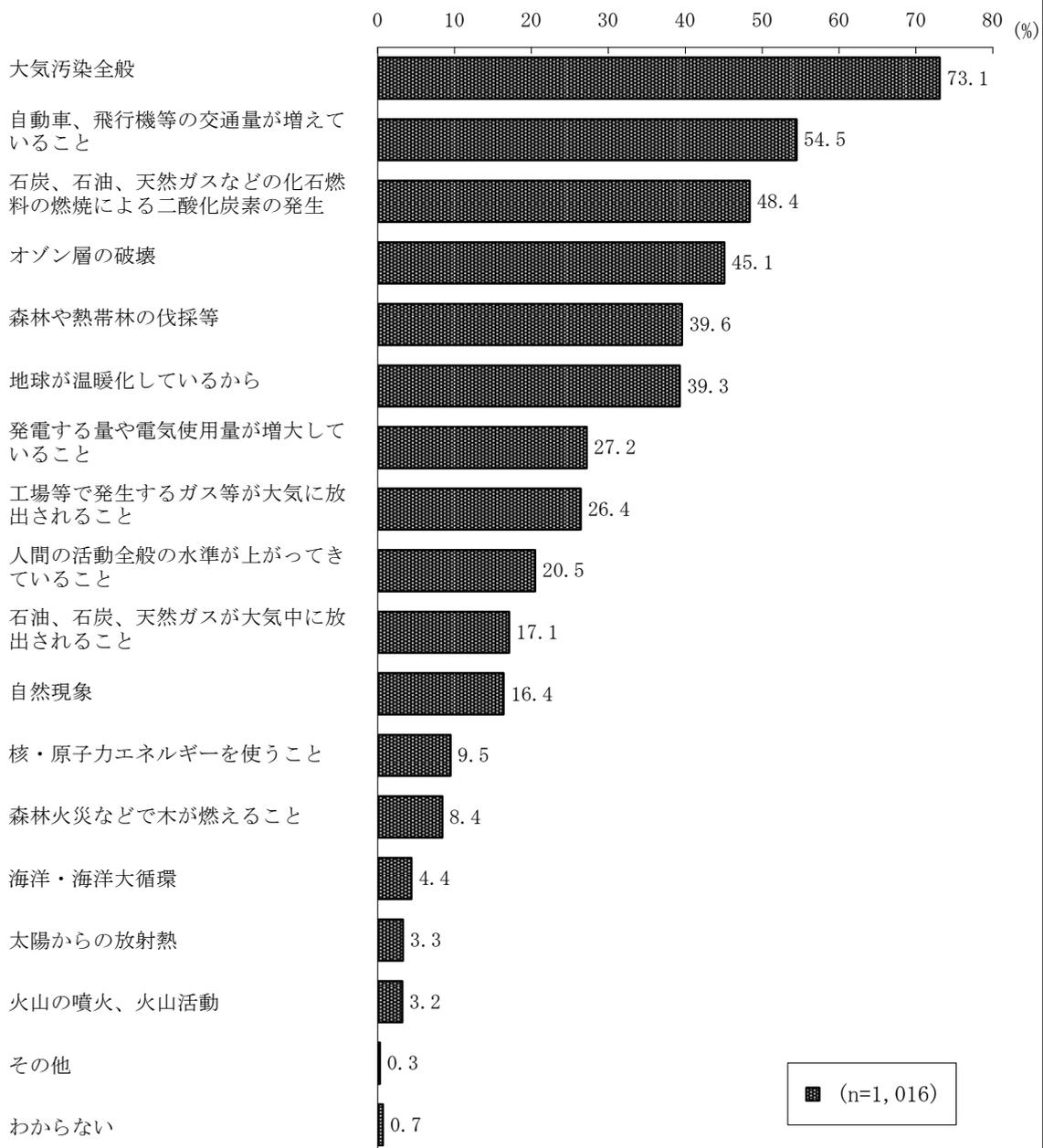
ここから、地球温暖化について聞いた。まず、最初に「地球上の気候がかわってきていると思うか」と聞いたところ、90.6%が「そう思う」と回答した(Q17)。この「そう思う」と回答した場合に、さらにその原因を聞いた(Q18)。最も多い回答が、「一部は自然減少、また一部は人間活動」(38.7%)、「おおかたは人間の活動に原因がある」(36.5%)の二つであり、合計で75.2%になる。「全く自然現象」(3.4%)、もしくは「おおかたは自然現象」(9.7%)というものは合計で13.1%であった。

(17) 気候の変化の原因

Q17で「1. そう思う」と答えた方に

Q19. それでは、地球上の気候が変わってきている原因は何だと思えますか。

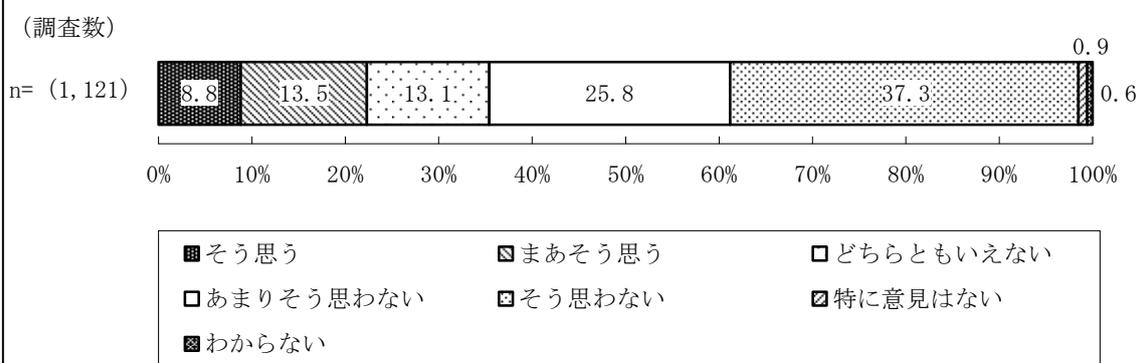
次の中から5つまであげてください。(M. A.)



地球上の気候がかわってきている原因について聞いたところ、「大気汚染全般」が最も多く 73.1%、続いて「自動車飛行機等の交通量が増えていること」54.5%、「石炭など化石燃料の燃焼による二酸化炭素の発生」48.4%、「オゾン層破壊」45.1%と続く。地球が温暖化しているからと言う回答も 39.3%であり、4割近くの回答者が「温暖化」について認識していることがわかる。

#### (18) 気候の変化の深刻さ

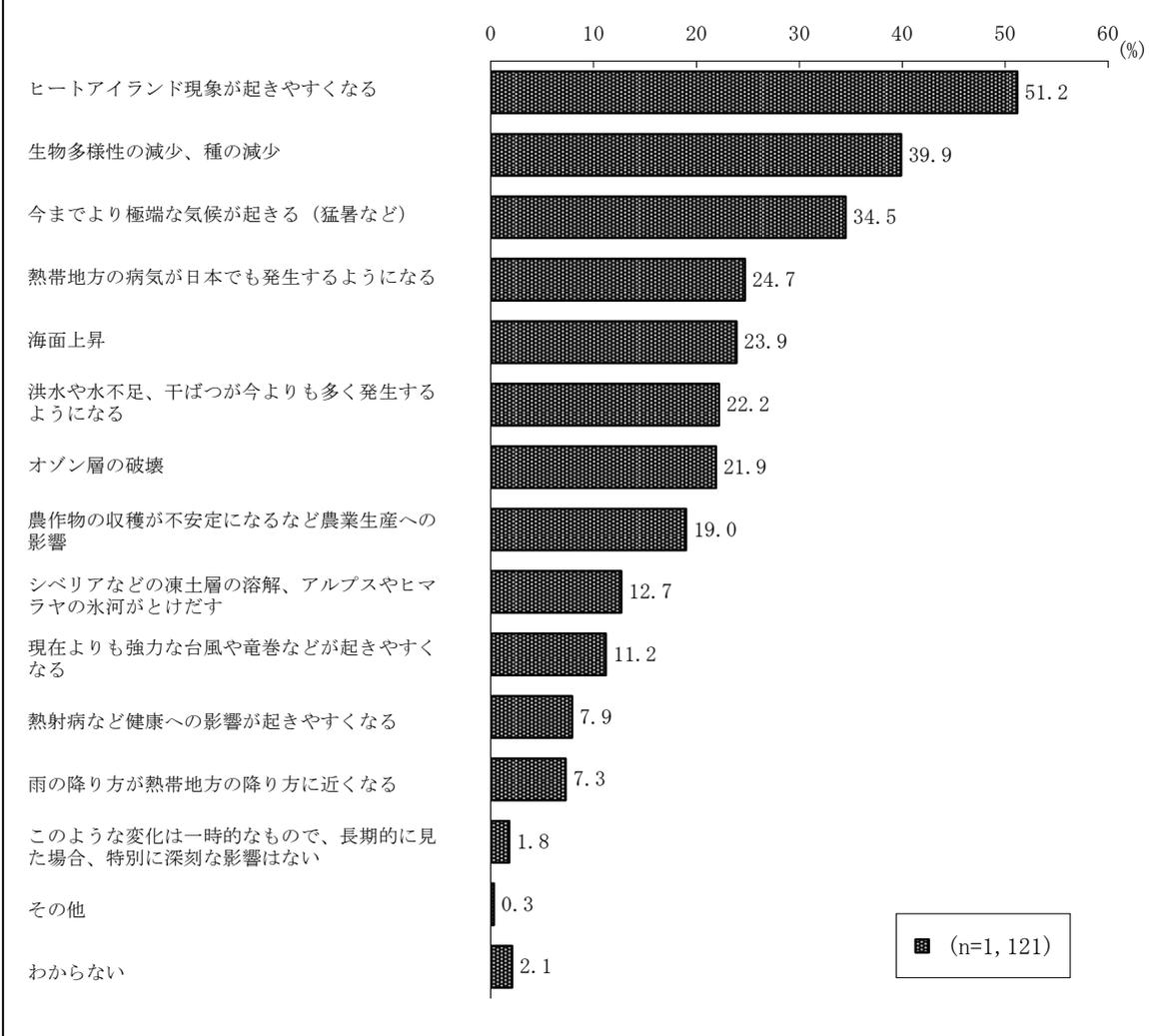
Q 20. あなたは、一般的に言われている、地球温暖化・気候変動の影響の深刻さは、大げさだと思いますか。当てはまるものをお選びください。



温暖化の影響は、しばしばマスメディアでとりあげられているが、これについての評価を聞いた。その結果、37.3%の回答者が「そう思わない」と回答し、さらに25.8%が「あまりそう思わない」と合計で63.1%が「そう思わない」との回答であった。

(19) 気候の変化の影響

Q 2 1. それでは、このまま地球上の気候が変化していくことによる影響として深刻なことは何だと思えますか。この中から3つまであげてください。(M. A.)

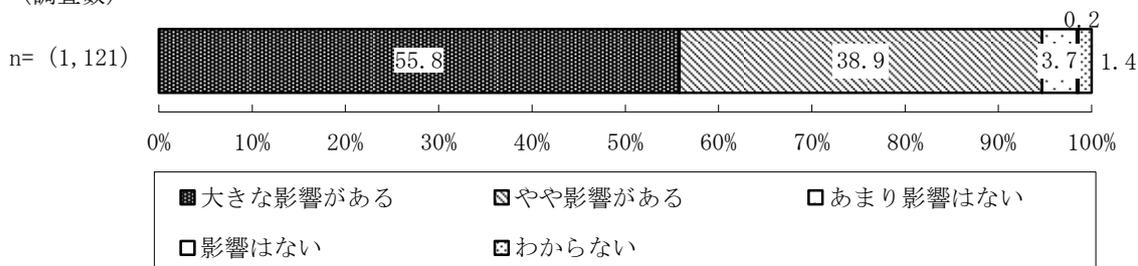


Q21は、地球上の気候が変化していくことによる影響として深刻なこととして3つ選んでもらったものである。最も多いのが、「(猛暑など) 今までより極端な気候がおきる」51.2%、「海面上昇」39.9%、「オゾン層破壊」34.5%などである。

## (20) 環境問題の将来世代への影響

Q 2 2. さまざまな環境問題は、一般的に見て、子供世代や孫世代などの将来世代の健康にどのくらい影響を与えますか。この中から1つ選んでください。

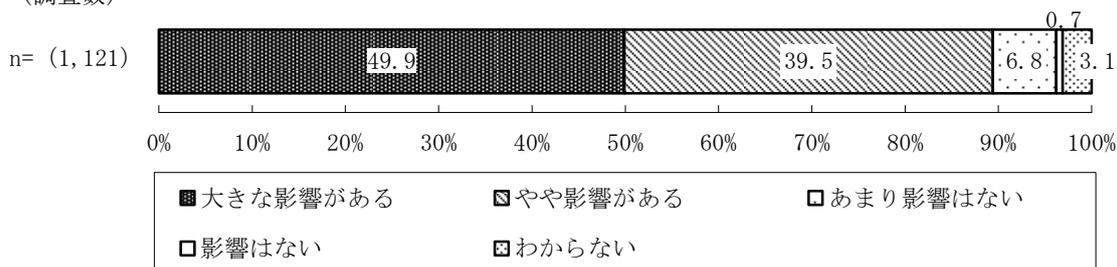
(調査数)



## (21) 大震災の将来世代への影響

Q 2 3. では、東日本大震災を原因とした原発事故とそれに伴う放射性物質の拡散は、一般的に見て子供世代や孫世代などの将来世代の健康にどのくらい影響を与えますか。この中から1つ選んでください。

(調査数)



環境問題も、東日本大震災による原発事故もいずれも将来世代への影響が議論される問題であることから、それらの影響に対する認知について聞いたのが、Q22、Q23である。Q22の環境問題については、55.8%が「大きな影響がある」と回答し、「やや影響がある」(38.9%)とあわせて94.7%が「影響がある」と回答した。

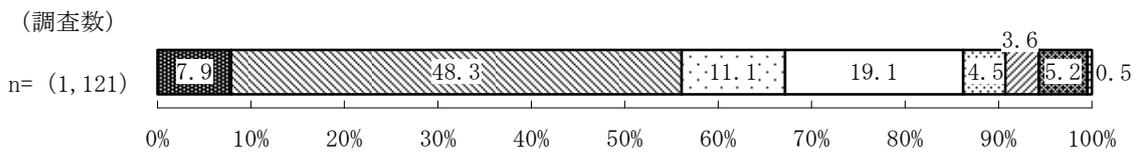
一方、Q23の大震災については、49.9%が「大きな影響がある」とし「やや影響がある」(39.5%)とあわせて89.4%が「影響がある」と回答した。

いずれの問題も9割以上の回答者が将来世代の健康に影響があると回答している。

(22) 東日本大震災に起因する震災がれきの処理について

では現在、被災地やそれを取り巻く周辺地域で実施されている、がれきの処理や除染活動について伺います。

Q 2 4. 現在、被災地のがれきの焼却を全国の自治体に呼び掛けてお願いしていることはご存じかと思えます。もし、ご自身が住んでいる自治体で受け入れるかどうかについて考えたとき、あなたの御意見に最も近いのは以下のどれでしょうか。ひとつだけお選び下さい。



- どれだけ放射能に汚染されているか不明なため、被災地で処理すべきと思う
- 放射性物質を測って安全性が確認されたものだから、もっと全国での処理を進めるべきと思う
- 放射性物質を測り安全性が確認されても、用心のため被災地以外への運び出しは行うべきではないと思う
- 少しくらい放射性物質に汚染されていても、被災地を助けるため、もっと全国での処理を進めるべきだと思う
- 放射性物質の安全性が確認されたと言っても、信頼できないため、他の自治体は引き受けるべきではないと思う
- 安全性が確認されたといっても、受け入れると不利益なことが起こる可能性があるため、引き受けるべきではないと思う
- 特に意見はない
- 無回答

がれき処理については、最も多い回答が、「放射性物質をきちんと測って安全性が確認されたものだから、もっと全国の自治体での処理を進めるべきだと思う」48.3%であり、肯定的な回答が約半数であった。

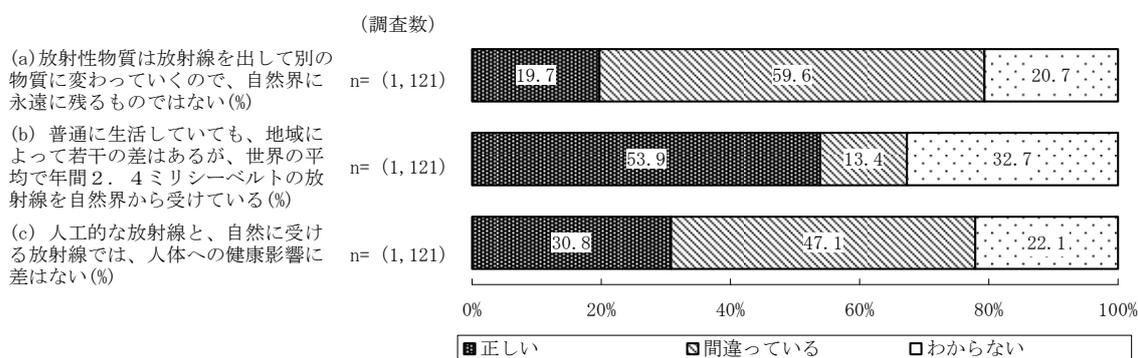
(23) 放射線の性質について

Q 25. 次の (a) から (b) の文章は、正しいと思いますか。それぞれについてお答えください。

(a) 放射性物質は放射線を出して別の物質に変わっていくので、自然界に永遠に残るものではない。

(b) 普通に生活していても、地域によって若干の差はあるが、世界の平均で年間 2.4 ミリシーベルトの放射線を自然界から受けている。

(c) 人工的な放射線と、自然に受ける放射線では、人体への健康影響に差はない。



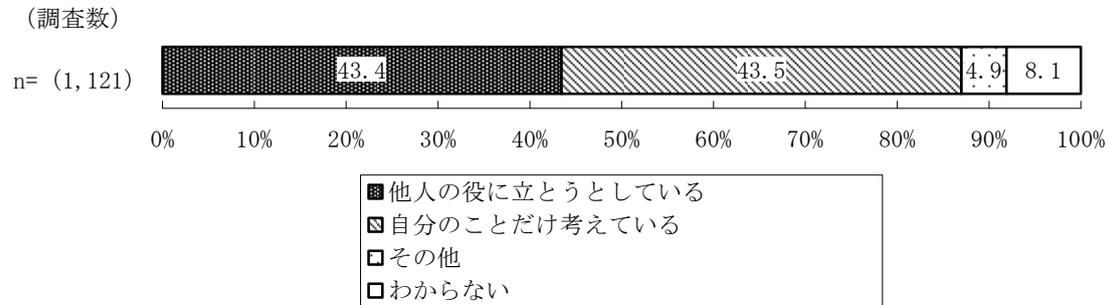
放射能についての 3 つの質問をした。いずれの文章も正解である。この 3 問についてみると、(b) は 53.9% と半数以上が正答であったが、(a) と (c) については、それぞれ 19.7%、30.8% と正答率が低かった。誤答率が (a) は 59.6%、(c) は 47.1% と非常に高く、大きな誤解が生じていることが見て取れる。

放射能については、さまざまな解説がなされているが、東日本大震災に関連してだされたものとして、消費者庁の「食品と放射能Q&A」

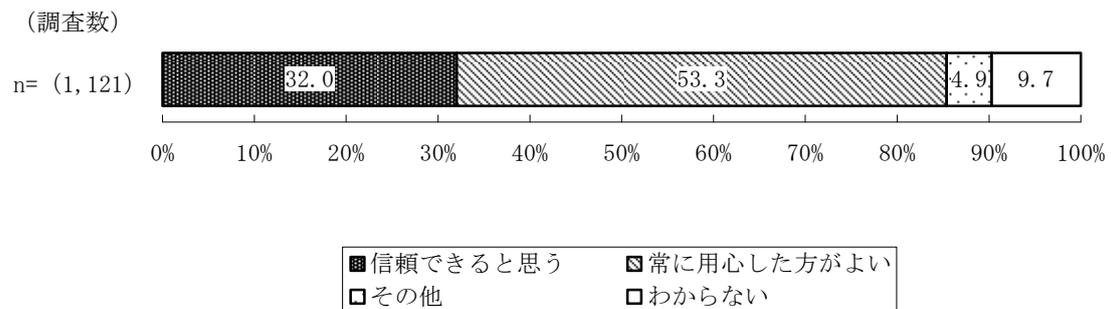
([http://www.caa.go.jp/jisin/pdf/120427-1\\_food\\_qa.pdf](http://www.caa.go.jp/jisin/pdf/120427-1_food_qa.pdf)) などがわかりやすい。これは、冊子でも公開されている。また、今回の質問の (b) と (c) については (独)放射線医学総合研究所のQ&A (<http://www.nirs.go.jp/information/qa/qa.php>) も参照されたい。

(25) 社会における信頼について

Q 2 6. 世の中のたいいていの方は、他人の役に立とうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。



Q 2 7. 世の中のたいいていの方は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。



東日本大震災以降、人々の「絆」が様々な場所で言われたが、その「絆」をはじめとする人々のつながりはどのような状況にあるのだろうか。ここでは、2つの質問をした。

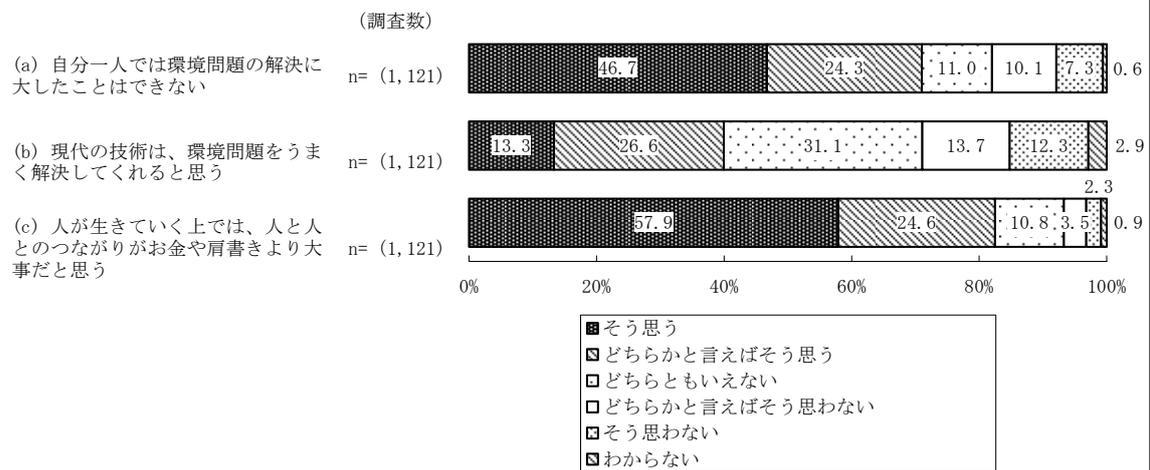
まず「世の中のたいいていの方は他人の役に立とうとしているか」について聞くと、43.4%が「他人の役に立とうとしている」と回答し、同時にほぼ同数の43.5%が「自分のことだけ考えている」と回答が大きく二つに分かれる結果となった。

また、一方、「世の中のたいいていの方は信頼できると思うか」については、53.3%が「常に用心した方がよい」と回答し、「信頼できると思う」の32.0%を大きく上回る結果となった。

(26) 環境問題や人と人とのつながりについて

Q 2 8. ここにあげる (a) から (c) の考えについて、あなたはどのように思いますか。

- (a) 自分一人では環境問題の解決に大したことはできない
- (b) 現代の技術は、環境問題をうまく解決してくれると思う
- (c) 人が生きていく上では、人と人とのつながりがお金や肩書きより大事だと思う。

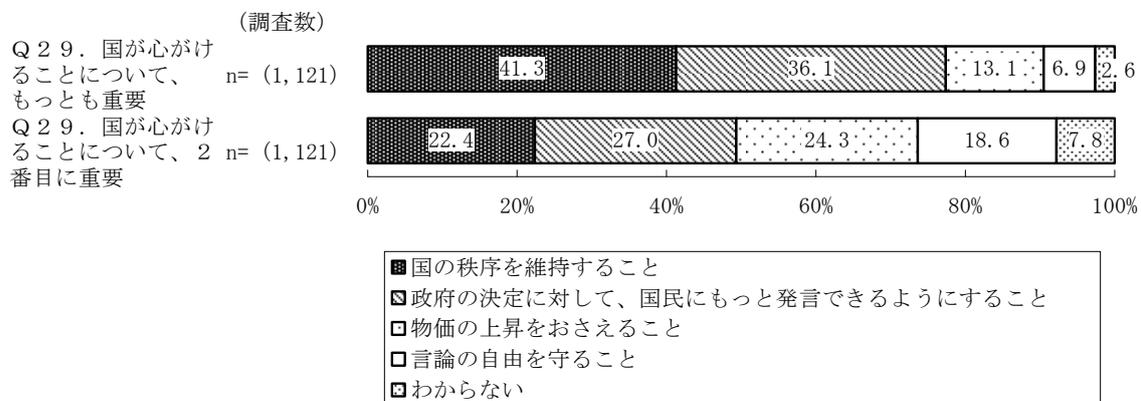


環境問題や人と人とのつながりについて3つの質問をした。「自分一人では環境問題の解決に大したことはできない」に「そう思う」(46.7%)と半数近くが回答し、「どちらかと言えばそう思う」(24.3%)と合わせると71.0%となった。また現代の技術の有効性についてもあまり肯定的ではなく、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計が39.9%であるが、最も多いのが「どちらとも言えない」が単独で31.1%となっている。

「人が生きていく上で人と人とのつながりがお金や肩書きより大事」については、57.9%が「そう思う」と回答し、人と人とのつながりの重要性が大きく認識されている。

(27) 国が心がけるもの

Q 2 9 . 国が心がけることについて、もっとも重要だと思うのはどれですか。また、2番目に重要だと思うのはどれですか。次の (a) から (e) の中からお選びください。



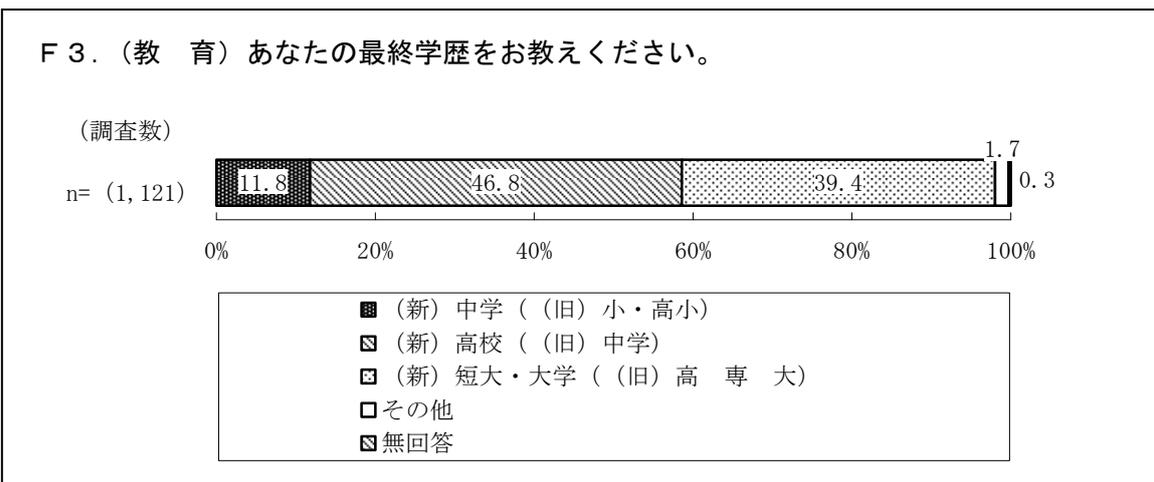
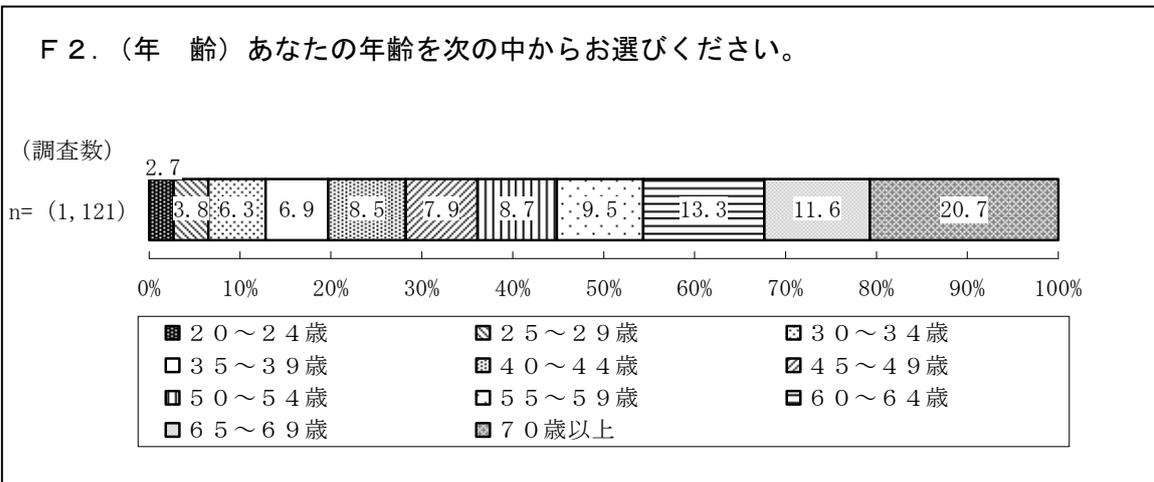
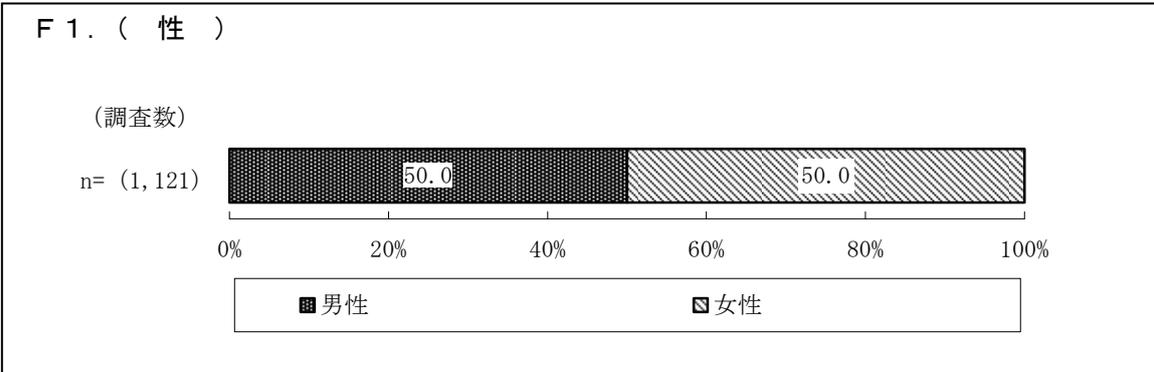
国の心がけることとして重要なことを順番にあげてもらったところ、1番目に重要なものは「国の秩序」41.3%、「政府の決定にもっと発言」36.1%であり、二番目に重要なものとして、「政府の決定にもっと発言」27.0%、「物価の上昇を抑えること」24.3%となった。

## 4. 回答された方々の属性

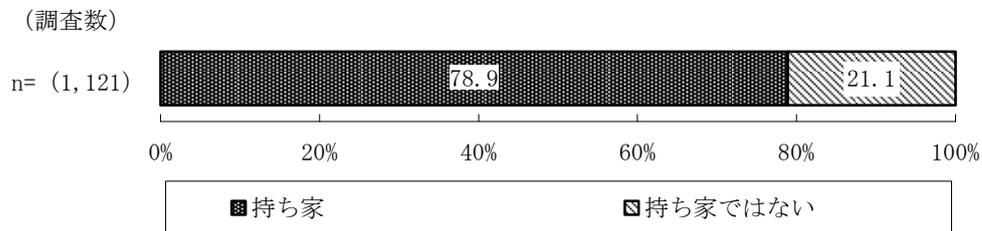


#### 4. 回答された方々の属性

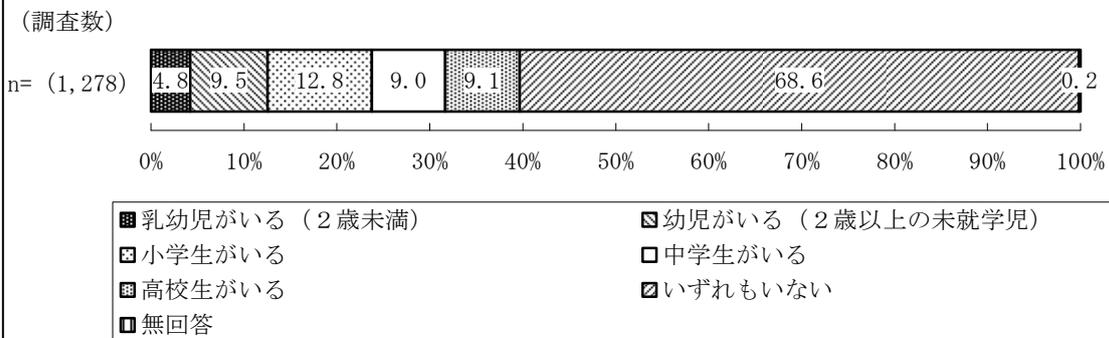
##### (1) 基本属性



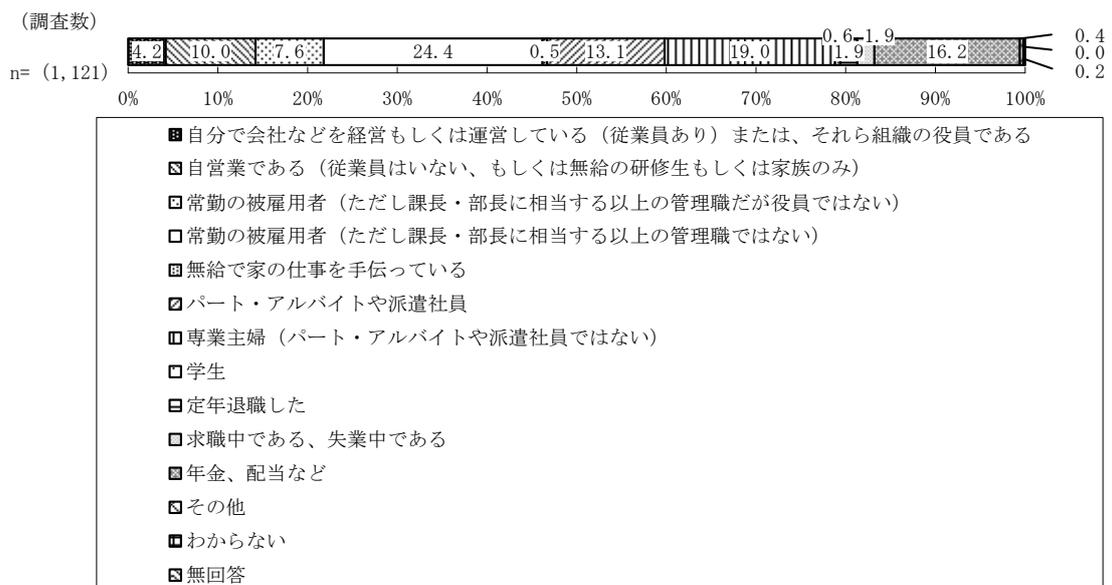
F 4. ご自宅は、持ち家ですか。



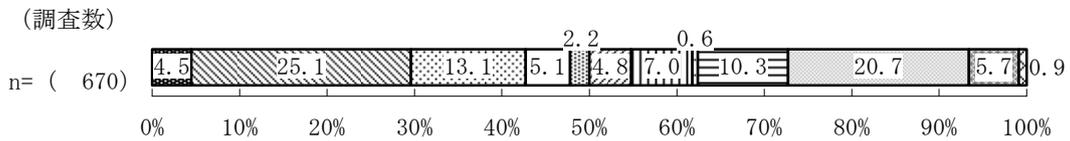
F 5. ご家族に、18歳未満の方はいますか。(M. A.)。



F 6. 次にお仕事について、おたずねします。あなたは職業をお持ちですか。このように分けると、どれにあたりますか。

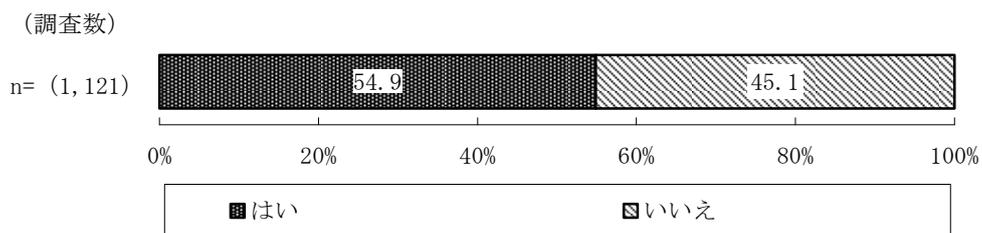


F 7. では、前の設問で「1」から「6」にお答えになった方にかがいます。業種はこの中のどれにあてはまりますか。



- 農林漁業
- 製造業・建設業
- 小売業、卸売業
- 交通、運輸業
- 金融業
- 通信、IT、コンピューター関連業 (SE等含む)
- 政府官公庁、公企業体
- シンクタンク、コンサルタント
- 弁護士、公認会計士、医師、教員、等専門的技術的職業
- サービス業 (ホテル、レストラン、美容院など)
- その他
- わからない

F 8. あなたは、実質上の世帯主ですか。



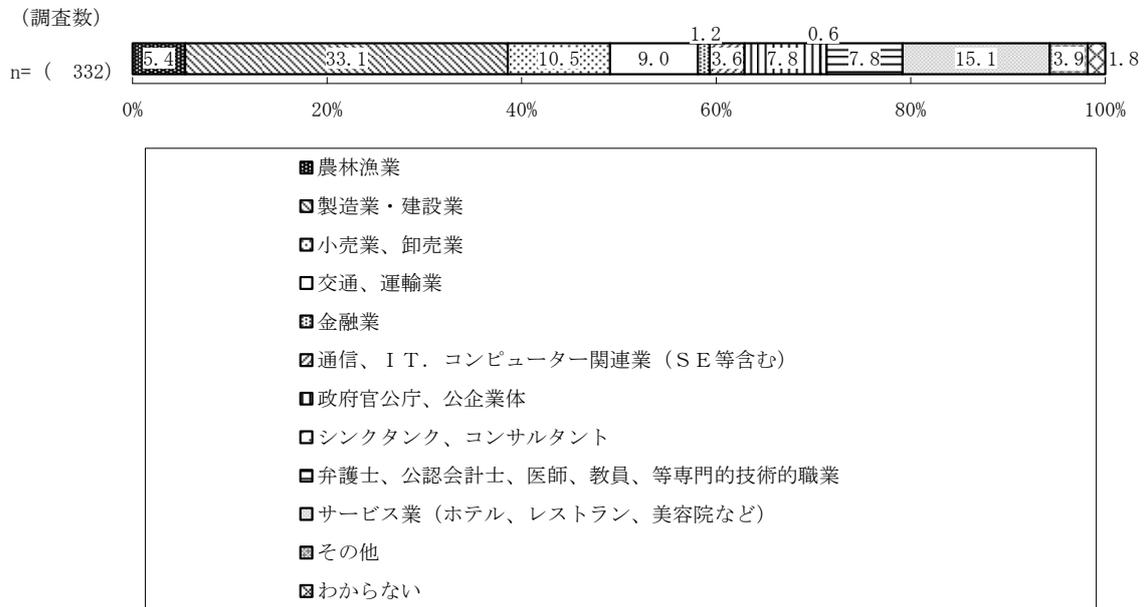
F8で「2いいえ」と回答された方に

F9. 前の設問で「いいえ」とお答えになった方に伺います。世帯主の方は職業をお持ちですか。このように分けると、どれにあたりますか。

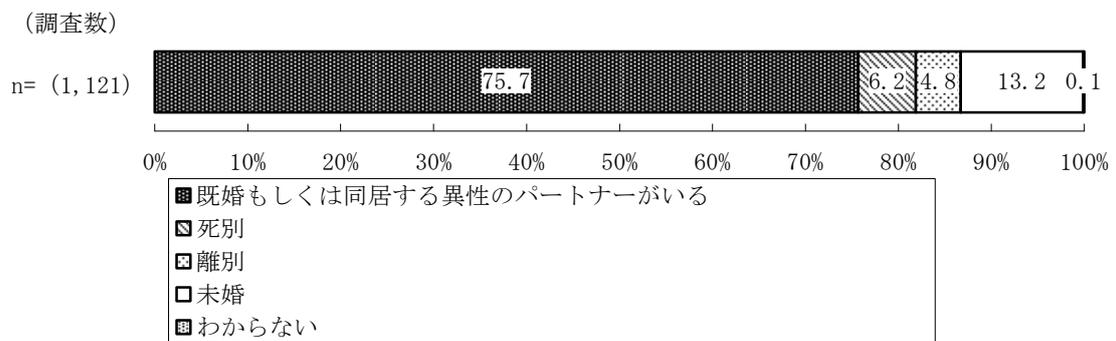


- 自分で会社などを経営もしくは運営している (従業員あり) または、それら組織の役員である
- 自営業である (従業員はいない、もしくは無給の研修生もしくは家族のみ)
- 常勤の被雇用者 (ただし課長・部長に相当する以上の管理職だが役員ではない)
- 常勤の被雇用者 (ただし課長・部長に相当する以上の管理職ではない)
- 無給で家の仕事を手伝っている
- パート・アルバイトや派遣社員
- 専業主婦 (パート・アルバイトや派遣社員ではない)
- 学生
- 定年退職した
- 求職中である、失業中である
- 年金、配当など
- その他
- わからない
- 無回答

F 1 0. では、前の設問で「1」から「6」にお答えになった方にうかがいます。業種はこの中のどれにあてはまりますか。

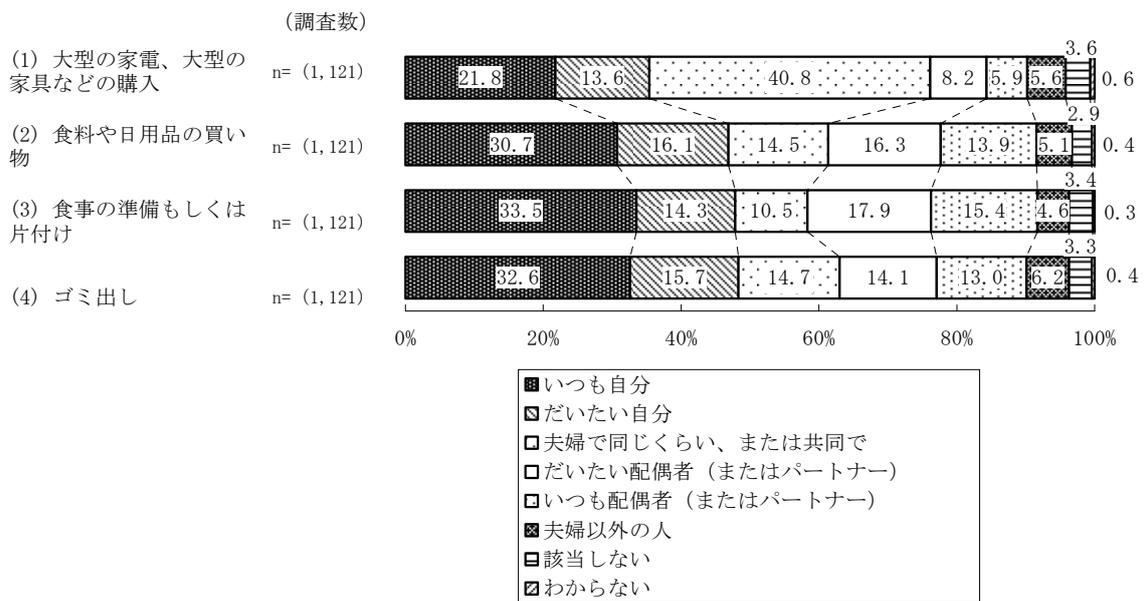


F 1 1. あなたは、結婚をしていますか。



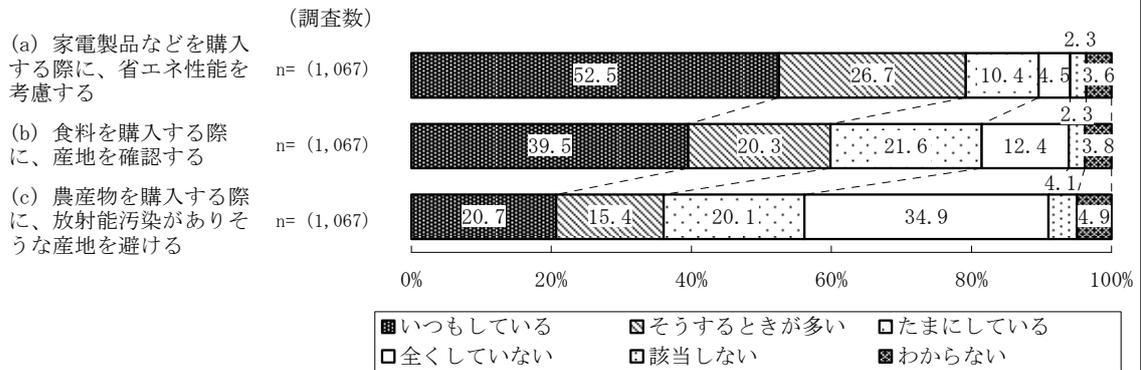
F 1 2. 次のそれぞれの役割は、お宅ではどなたが主に担っていますか。それぞれについて1つずつお答えください。

- (1) 大型の家電、大型の家具などの購入
- (2) 食料や日用品の買い物
- (3) 食事の準備もしくは片付け
- (4) ゴミ出し



【F12で「1いつも自分」～「5いつも配偶者（またはパートナー）」と回答された方に】

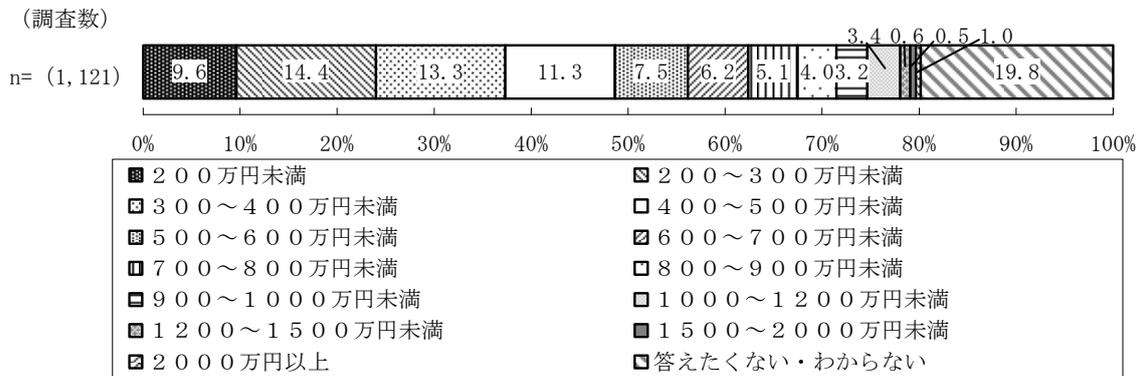
F13. 買い物をする際には、いろいろと考えることがあるかと思えます。東日本大震災後、ここにあげる事柄について、あなたは買い物をする際にどの程度考慮しますか



買い物の際に考慮することとして、気候変動関連で「家電の省エネ性能」を質問した。全体で約80%ほどの回答者は、「いつもしている」（52.5%）もしくは「そうするときが多い」（26.7%）との回答であった。省エネ性能についての確認はかなり普及していると考えられる。

放射能関連では、まず一般的に「産地を確認する」かについては、合計で約60%が「いつもしている」（39.5%）もしくは「そうするときが多い」（20.3%）と回答している。さらに、「放射能汚染」との関連について聞くと、約36%が「いつもしている」（20.7%）もしくは「そうするときが多い」（15.4%）と回答している。実際には、東日本大震災に起因する放射能関連については、出荷段階、流通段階での検査がかなり念入りに行われており、従来以上の放射能汚染された生産物は出回っていない。

F14. ここ3年間をおよそ平均してみたときに、お宅（ご家族の収入の合計）の一年間の平均的な収入は、税込みでいくらでしたか。臨時収入、副収入、ご家族全員の収入の合計に近いものを、この中から1つ選んでください。



## 5. おわりに



## おわりに

東日本大震災から既に2年が経過し、3年目に入りました。今回の調査結果をみても、まだ大震災後の対応は十分ではなく、エネルギーに関する選択についても、一般の人々の中でも様々な意見があることがわかります。また、放射能汚染に対して、既にかかなりの検査体制が取られて市場には検査済みのものが流通しているにもかかわらず、多くの人が、放射能汚染を気にした購買行動をつづけていることもわかります。一方で、震災がれきなどは、報道されているほどには放射能汚染についての恐れは観察されない結果となりました。粛々と処理を進めていく問題と思われま

す。東日本大震災の問題は、これから数十年の時が必要な長期の問題であるとともに、生活をする人々にとっては日々の緊急の問題でもあります。気候変動問題も、気候によってその生産が大きく影響される業種・業態の人々にとっても目の前の緊急の課題であると同時に、その対策にはインフラの整備なども必要であり、数十年の時が必要な問題でもあります。これらの複合したリスクについて、日々、考え、よりよい解決策を見いだすために、多くの調査分析が必要であり、本調査もその一貫です。

本調査結果を活用するように一層の努力をしていきたいと考えています。

この報告書についての問い合わせ先  
独立行政法人 国立環境研究所  
環境計画研究室 担当 青柳みどり  
〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2



## 6. 集計結果一覽



<最近の暮らしについて>

Q 1. 東日本大震災以前の同じ時期と比較した最近1か月の電気使用量

調査数	1121	39	302	585	145	50	わ か ら な い
	100.0	3.5	26.9	52.2	12.9	4.5	
		0か %な り 減 つ た 上	1 %減 つ た 下 程 度	5 %以 下 程 度	ほ と ん ど 消 費 ま つ た 程 度	増 え た	
		た (電 力 消 費 量 で 1	く (電 力 消 費 量 で 5	い た い わ ら な い か い			

Q 2. 今後の節電への取り組み

上段：件数  
下段：%

調査数	1121	137	556	320	83	25	わ か ら な い
	100.0	12.2	49.6	28.5	7.4	2.2	
		で 昨 年 、 一 昨 年 以 上 の 節 電 は 十 分 思 う	は 昨 年 、 一 昨 年 と 同 じ 程 度 の 節 電 思 う	と 昨 年 、 一 昨 年 よ り 節 電 で き な い 思 う が、 昨 年 よ り 節 電 に す る 努 力 は す る	き な い と 思 う (無 理 だ と 思 う)		
		思 う 上 の 節 電 は 十 分	同 じ 程 度 の 節 電	昨 年 よ り 節 電 に す る	無 理 だ と 思 う		

＜環境問題一般について＞

Q3. 環境と経済成長の関係について

調査数	1121 100.0	461 41.1	502 44.8	158 14.1
		経済成長が環境を優先し、雇用を確保すべきだ	環境を守るべきだ	わからない

Q4. インターネット使用の実際利用している機器

上段：件数  
下段：%

調査数	1121 100.0	594 53.0	263 23.5	297 26.5	275 24.5	81 7.2	1 0.1	355 31.7	26 2.3
		パソコン、タブレット端末など	スマートフォン、PDA（携帯情報端末）など	携帯電話（スマートフォンを除く）	テレビ、ビデオカメラ、録音機やデジタルレコーダーなど含む	ゲーム機	その他	インターネットを使っていない	インターネットを知らない・わからない

Q5. 環境問題を含む社会の出来事一般についての情報源

調査数	1121 100.0	841 75.0	157 14.0	256 22.8	1026 91.5	219 19.5	73 6.5	11 1.0	8 0.7	72 6.4	121 10.8	8 0.7	10 0.9	7 0.6	1 0.1	
		新聞紙（印刷されたもののみ）	雑誌	ラジオ	テレビ	友人や家族	外国や自治体等が配布しているパンフレット等	環境団体が配布しているパンフレット等	GPOやNPO等が配布しているパンフレット等	ツイッター、フェイスブックやMixiなどのSNS	電卓、字版、新聞、雑誌等	フリーペーパー、フリーマガジン	セミナーや講習会など	その他	特に情報を得てない	わからない



＜環境問題一般について＞  
 Q 8. 環境を守るための活動

	調査数	行ったことがある	今後は行かないが、	今後は行きたいとは思	わからない
Q 8. (a) 環境保護を目的としたグループや団体に寄付をすること	1121 100.0	286 25.5	329 29.3	446 39.8	60 5.4
Q 8. (b) 東日本大震災の救済を目的としたグループや団体に寄付をすること	1121 100.0	572 51.0	216 19.3	294 26.2	39 3.5
Q 8. (c) 環境保護団体のメンバーになったり、一緒に活動すること	1121 100.0	41 3.7	186 16.6	811 72.3	83 7.4
Q 8. (d) 東日本大震災の救済を目的としたグループや団体のメンバーになったり、一緒に活動すること	1121 100.0	37 3.3	213 19.0	782 69.8	89 7.9
Q 8. (e) 環境に関する考えや意見を 新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNSにのせること	1121 100.0	16 1.4	99 8.8	927 82.7	79 7.0
Q 8. (f) 東日本大震災の復興や放射線に関する考えや意見を 新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNSにのせること	1121 100.0	16 1.4	100 8.9	927 82.7	78 7.0

上段：件数  
下段：%

＜エネルギー問題について＞  
 Q9. 様々な発電方法・燃料の好ましさ

	調査数	とても好ましい	やや好ましい	どちらともいえない	あまり好ましいと思わない	全く好ましいとは思わない	聞いたことがない	特に意見はない	わからない	上段：件数 下段：%	
Q9. (a) 樹木、穀物、人畜の排泄物等によるバイオマス発電	1121 100.0	269 24.0	317 28.3	234 20.9	58 5.2	17 1.5	103 9.2	29 2.6	94 8.4		
Q9. (b) 石炭による火力発電	1121 100.0	37 3.3	176 15.7	324 28.9	363 32.4	108 9.6	31 2.8	22 2.0	60 5.4		
Q9. (c) 天然ガスによる火力発電	1121 100.0	202 18.0	419 37.4	299 26.7	96 8.6	22 2.0	14 1.2	22 2.0	47 4.2		
Q9. (d) 水力発電	1121 100.0	468 41.7	427 38.1	159 14.2	24 2.1	7 0.6	1 0.1	15 1.3	20 1.8		
Q9. (e) 原子力発電	1121 100.0	27 2.4	106 9.5	265 23.6	303 27.0	367 32.7	2 0.2	20 1.8	31 2.8		
Q9. (f) 石油による火力発電	1121 100.0	43 3.8	215 19.2	370 33.0	357 31.8	76 6.8	6 0.5	16 1.4	38 3.4		
Q9. (g) 太陽・太陽光発電	1121 100.0	736 65.7	283 25.2	66 5.9	8 0.7	6 0.5	2 0.2	11 1.0	9 0.8		
Q9. (h) 風力発電	1121 100.0	658 58.7	310 27.7	95 8.5	28 2.5	7 0.6	-	11 1.0	12 1.1		

＜エネルギー問題について＞  
 Q10. 20～30年後安定した電力供給を行うものとして適している発電方法・燃料  
 上段：件数  
 下段：％

	調査数	とても適している	やや適している	どちらともいえない	あまり適していない	全く適していない	聞いたことがない	特に意見はない	わからない
Q10. (a) 樹木、穀物、人間の排泄物等によるバイオマス発電	1121 100.0	243 21.7	312 27.8	277 24.7	71 6.3	11 1.0	78 7.0	35 3.1	94 8.4
Q10. (b) 石炭による火力発電	1121 100.0	27 2.4	135 12.0	325 29.0	396 35.2	139 12.4	15 1.3	29 2.6	56 5.0
Q10. (c) 天然ガスによる火力発電	1121 100.0	180 16.1	358 31.9	308 27.5	159 14.2	29 2.6	12 1.1	28 2.5	47 4.2
Q10. (d) 水力発電	1121 100.0	427 38.1	416 37.1	170 15.2	38 3.4	15 1.3	2 0.2	18 1.6	35 3.1
Q10. (e) 原子力発電	1121 100.0	32 2.9	98 8.7	252 22.5	276 24.6	400 35.7	2 0.2	20 1.8	41 3.7
Q10. (f) 石油による火力発電	1121 100.0	48 4.3	176 15.7	382 34.1	359 32.0	94 8.4	3 0.3	18 1.6	41 3.7
Q10. (g) 太陽・太陽光発電	1121 100.0	706 63.0	290 25.9	76 6.8	15 1.3	4 0.4	1 0.1	15 1.3	14 1.2
Q10. (h) 風力発電	1121 100.0	621 55.4	325 29.0	102 9.1	31 2.8	6 0.5	-	14 1.2	22 2.0









＜地球環境問題について＞

Q24. 被災地の被害の軽減を居住自治体が受け入れるかどうかについて

上段：件数  
下段：%

調査数	1121 100.0	88 7.9	541 48.3	124 11.1	214 19.1	50 4.5	40 3.6	58 5.2	6 0.5
のど だけ から、 放射 能地 で汚 染さ すべ きだ ら思 う									
るも 放射 物質 をま ちん と全 国測 つて 自治 体の 処理 を進 めた 思 う									
うの 放射 物質 は心 健康 に影 響を 与え ない と思 う									
でも たど の災 害を 軽減 する ため に放 射性 物質 を全 国に わた り運 ぶに 同意 する と思 う									
受も 放射 物質 は信 頼し ない と思 う									
ない 放射 物質 がも たら す危 険な 影響 は引 き受 けな いと思 う									
なが 放射 物質 がも たら す危 険な 影響 は引 き受 けな いと思 う									
特に 意見 はな い									
無 回答									

Q25. 放射能物質や放射線への認識

	調査数	正しい	間違っている	わからない
Q25.(a) 放射性物質は放射線を出して別の物質に変わっていくので、自然界に永遠に残るものではない	1121 100.0	221 19.7	668 59.6	232 20.7
Q25.(b) 普通に生活していても、地域によって若干の差はあるが、世界の平均で年間2.4ミリシーベルトの放射線を自然界から受けている	1121 100.0	604 53.9	150 13.4	367 32.7
Q25.(c) 人工的な放射線と、自然に受ける放射線では、人体への健康影響に差はない	1121 100.0	345 30.8	528 47.1	248 22.1

<一般的な社会の状態、考え方について>

Q 2 6 . 世の中のたいいていの人は、他人の役に立とうとしていていると思うか

調査数	て他人の役に立とうとして	い自分のことだけ考えて	その他	わからない
1121	487	488	55	91
100.0	43.4	43.5	4.9	8.1

Q 2 7 . 世の中のたいいていの人は、信頼できると思うか

調査数	信頼できると思う	常に用心した方がよい	その他	わからない
1121	359	598	55	109
100.0	32.0	53.3	4.9	9.7

上段：件数  
下段：%

Q 2 8 . 環境問題や人と人とのつながりについて

調査数	調 査 数	そ う 思 う	思 う ち ら か と 言 え ば そ う	ど ち ら と も い え ない	思 っ て い る 言 え ば そ う	そ う 思 わ ない	わ か ら ない
1121	1121	524	272	123	113	82	7
100.0	100.0	46.7	24.3	11.0	10.1	7.3	0.6
1121	1121	149	298	349	154	138	33
100.0	100.0	13.3	26.6	31.1	13.7	12.3	2.9
1121	1121	649	276	121	39	26	10
100.0	100.0	57.9	24.6	10.8	3.5	2.3	0.9

Q 2 8 . (a) 自分一人では環境問題の解決に大したことはできない

Q 2 8 . (b) 現代の技術は、環境問題をうまく解決してくれると思う

Q 2 8 . (c) 人が生きていく上では、人と人とのつながりがお金や肩書きより大事だと思う

Q 2 9 . 国の心がけられることとして重要なこと

調査数	調 査 数	と の 秩 序 を 維 持 す る こ と	国 政 府 上 野 の 決 定 に 対 し て 強 硬 的 に 言 っ て みる	物 価 の 上 昇 を お さ へ る	言 論 の 自 由 を 守 る こ と	わ か ら ない
1121	1121	463	405	147	77	29
100.0	100.0	41.3	36.1	13.1	6.9	2.6
1121	1121	251	303	272	208	87
100.0	100.0	22.4	27.0	24.3	18.6	7.8

Q 2 9 . 国が心がけることについて、もっとも重要

Q 2 9 . 国が心がけることについて、2 番目に重要



＜フエイスシート＞  
F 7. 業種

F 8. 回答者は実質上の世帯主か  
上段：件数  
下段：%

調査数	はい	いいえ
1121 100.0	615 54.9	506 45.1

調査数	農林漁業	製造業・建設業	小売業、卸売業	交通・運輸業	金融業	通信・関連業T（S・E等含む）	政府官公庁、公企業体	シンクタンク、コンサルタント	弁護士、公認会計士、医師的職業	サービス業（ホテル、レストラン、美容院など）	その他	わからない
670 100.0	30 4.5	168 25.1	88 13.1	34 5.1	15 2.2	32 4.8	47 7.0	4 0.6	69 10.3	139 20.7	38 5.7	6 0.9

F 9. 世帯主の職業（回答者が世帯主でない場合）

調査数	それ以外の役員である	会社などを経営している（役員あり）	家族は無給の経営者	自営業者（従業員はなし）	はに常勤の被雇用者（ただし部長・役員ではない）	に常勤に相当する被雇用者（ただし部長・役員ではない）	無給で家の仕事を手伝っている	パート・アルバイトや派遣社員	専業主婦（パート・アルバイトや派遣社員ではない）	学生	定年退職した	求職中である、失業中である	年金、配当など	その他	わからない
506 100.0	26 5.1	62 12.3	67 13.2	155 30.6	2 0.4	20 4.0	6 1.2	27 5.3	3 0.6	132 26.1	3 0.6	1 0.2	5 1.0	1 0.2	5 1.0

＜フェイェスシートン  
F10. 世帯主の業種（回答者が世帯主でない場合）

業種	件数	%	業種	件数	%
農林漁業	18	5.4	製造業・建設業	110	33.1
小売業・卸売業	35	10.5	交通・運輸業	30	9.0
金融業	4	1.2	通信・IT等含む	12	3.6
政府官公庁、公企業体	26	7.8	シンクタンク、コンサルタント	2	0.6
専任専門的技術的職業士、医師、教員、等	26	7.8	美容サロンの業務（ホテル、レストラン、美容院など）	50	15.1
その他	13	3.9	わからない	6	1.8
調査数	332	100.0			

F11. 未既婚  
上段：件数  
下段：%

調査数	件数	%	調査数	件数	%
1121	849	75.7	1121	54	4.8
100.0			148	13.2	
			1	0.1	

F12. 家庭での役割

役割	件数	%	役割	件数	%
調査数	1121	100.0	夫	457	40.8
			妻	408	36.4
			夫と妻以外の人	63	5.6
			わからない	7	0.6
			夫	163	14.5
			妻	183	16.3
			夫と妻以外の人	57	5.1
			わからない	33	2.9
			夫	160	14.3
			妻	173	15.4
			夫と妻以外の人	52	4.6
			わからない	38	3.4
			夫	176	15.7
			妻	165	14.7
			夫と妻以外の人	69	6.2
			わからない	37	3.3
			夫	152	13.6
			妻	136	12.1
			夫と妻以外の人	66	5.9
			わからない	40	3.6
			夫	244	21.8
			妻	218	19.4
			夫と妻以外の人	57	5.1
			わからない	33	2.9
			夫	344	30.7
			妻	307	27.4
			夫と妻以外の人	51	4.5
			わからない	29	2.6
			夫	376	33.5
			妻	335	29.9
			夫と妻以外の人	46	4.1
			わからない	37	3.3
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5
			わからない	47	4.2
			夫	326	29.1
			妻	291	25.9
			夫と妻以外の人	55	4.9
			わからない	38	3.4
			夫	365	32.6
			妻	326	29.1
			夫と妻以外の人	62	5.5

<フェイスシート>  
F13. 被害日本大震災後、買い物を断念していること

調査数	上段：件数 下段：%									
	調査している	そうする ときが多い	たまに している	全く していない	該当 しない	わからない				
1067	590	285	111	48	25	38				
100.0	55.3	26.7	10.4	4.5	2.3	3.6				
1067	421	217	231	132	25	41				
100.0	39.5	20.3	21.6	12.4	2.3	3.8				
1067	204	164	214	272	44	32				
100.0	19.1	15.4	20.1	25.5	4.1	3.0				

F13. (a) 家電製品などを購入する際に、省エネ性能を考慮すること

F13. (b) 食料を購入する際に、産地を確認すること

F13. (c) 農産物を購入する際に、放射能汚染がありそうな産地を避ける

F14. 平均年収

調査数	2 0 0 万円未満	満2 0 0 万円	満3 0 0 万円	満4 0 0 万円	満5 0 0 万円	満6 0 0 万円	満7 0 0 万円	満8 0 0 万円	満9 0 0 万円	円1 0 0 万円	円1 5 0 万円	円2 0 0 万円	円2 5 0 万円	円3 0 0 万円	円3 5 0 万円	円4 0 0 万円	円4 5 0 万円	円5 0 万円	円5 5 0 万円	円6 0 万円	円6 5 0 万円	円7 0 万円	円7 5 0 万円	円8 0 万円	円8 5 0 万円	円9 0 万円	円9 5 0 万円	円1 0 0 万円	円1 0 5 0 万円	円1 1 0 0 万円	円1 1 5 0 万円	円1 2 0 万円	円1 2 5 0 万円	円1 3 0 万円	円1 3 5 0 万円	円1 4 0 万円	円1 4 5 0 万円	円1 5 0 万円	円1 5 5 0 万円	円1 6 0 万円	円1 6 5 0 万円	円1 7 0 万円	円1 7 5 0 万円	円1 8 0 万円	円1 8 5 0 万円	円1 9 0 万円	円1 9 5 0 万円	円2 0 0 万円	円2 0 5 0 万円	円2 1 0 万円	円2 1 5 0 万円	円2 2 0 万円	円2 2 5 0 万円	円2 3 0 万円	円2 3 5 0 万円	円2 4 0 万円	円2 4 5 0 万円	円2 5 0 万円	円2 5 5 0 万円	円2 6 0 万円	円2 6 5 0 万円	円2 7 0 万円	円2 7 5 0 万円	円2 8 0 万円	円2 8 5 0 万円	円2 9 0 万円	円2 9 5 0 万円	円3 0 0 万円	円3 0 5 0 万円	円3 1 0 万円	円3 1 5 0 万円	円3 2 0 万円	円3 2 5 0 万円	円3 3 0 万円	円3 3 5 0 万円	円3 4 0 万円	円3 4 5 0 万円	円3 5 0 万円	円3 5 5 0 万円	円3 6 0 万円	円3 6 5 0 万円	円3 7 0 万円	円3 7 5 0 万円	円3 8 0 万円	円3 8 5 0 万円	円3 9 0 万円	円3 9 5 0 万円	円4 0 0 万円	円4 0 5 0 万円	円4 1 0 万円	円4 1 5 0 万円	円4 2 0 万円	円4 2 5 0 万円	円4 3 0 万円	円4 3 5 0 万円	円4 4 0 万円	円4 4 5 0 万円	円4 5 0 万円	円4 5 5 0 万円	円4 6 0 万円	円4 6 5 0 万円	円4 7 0 万円	円4 7 5 0 万円	円4 8 0 万円	円4 8 5 0 万円	円4 9 0 万円	円4 9 5 0 万円	円5 0 0 万円	円5 0 5 0 万円	円5 1 0 万円	円5 1 5 0 万円	円5 2 0 万円	円5 2 5 0 万円	円5 3 0 万円	円5 3 5 0 万円	円5 4 0 万円	円5 4 5 0 万円	円5 5 0 万円	円5 5 5 0 万円	円5 6 0 万円	円5 6 5 0 万円	円5 7 0 万円	円5 7 5 0 万円	円5 8 0 万円	円5 8 5 0 万円	円5 9 0 万円	円5 9 5 0 万円	円6 0 0 万円	円6 0 5 0 万円	円6 1 0 万円	円6 1 5 0 万円	円6 2 0 万円	円6 2 5 0 万円	円6 3 0 万円	円6 3 5 0 万円	円6 4 0 万円	円6 4 5 0 万円	円6 5 0 万円	円6 5 5 0 万円	円6 6 0 万円	円6 6 5 0 万円	円6 7 0 万円	円6 7 5 0 万円	円6 8 0 万円	円6 8 5 0 万円	円6 9 0 万円	円6 9 5 0 万円	円7 0 0 万円	円7 0 5 0 万円	円7 1 0 万円	円7 1 5 0 万円	円7 2 0 万円	円7 2 5 0 万円	円7 3 0 万円	円7 3 5 0 万円	円7 4 0 万円	円7 4 5 0 万円	円7 5 0 万円	円7 5 5 0 万円	円7 6 0 万円	円7 6 5 0 万円	円7 7 0 万円	円7 7 5 0 万円	円7 8 0 万円	円7 8 5 0 万円	円7 9 0 万円	円7 9 5 0 万円	円8 0 0 万円	円8 0 5 0 万円	円8 1 0 万円	円8 1 5 0 万円	円8 2 0 万円	円8 2 5 0 万円	円8 3 0 万円	円8 3 5 0 万円	円8 4 0 万円	円8 4 5 0 万円	円8 5 0 万円	円8 5 5 0 万円	円8 6 0 万円	円8 6 5 0 万円	円8 7 0 万円	円8 7 5 0 万円	円8 8 0 万円	円8 8 5 0 万円	円8 9 0 万円	円8 9 5 0 万円	円9 0 0 万円	円9 0 5 0 万円	円9 1 0 万円	円9 1 5 0 万円	円9 2 0 万円	円9 2 5 0 万円	円9 3 0 万円	円9 3 5 0 万円	円9 4 0 万円	円9 4 5 0 万円	円9 5 0 万円	円9 5 5 0 万円	円9 6 0 万円	円9 6 5 0 万円	円9 7 0 万円	円9 7 5 0 万円	円9 8 0 万円	円9 8 5 0 万円	円9 9 0 万円	円9 9 5 0 万円	円1 0 0 0 万円	円1 0 0 5 0 万円	円1 0 1 0 0 万円	円1 0 1 5 0 万円	円1 0 2 0 0 万円	円1 0 2 5 0 万円	円1 0 3 0 0 万円	円1 0 3 5 0 万円	円1 0 4 0 0 万円	円1 0 4 5 0 万円	円1 0 5 0 0 万円	円1 0 5 5 0 万円	円1 0 6 0 0 万円	円1 0 6 5 0 万円	円1 0 7 0 0 万円	円1 0 7 5 0 万円	円1 0 8 0 0 万円	円1 0 8 5 0 万円	円1 0 9 0 0 万円	円1 0 9 5 0 万円	円1 1 0 0 0 万円	円1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 4 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 4 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 5 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 5 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 6 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 6 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 7 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 7 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 8 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 8 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 9 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 9 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 0 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 2 5 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 0 0 万円	円1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 3 5 0 
-----	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------	--------------------	---------------	--------------------	---------------	--------------------	---------------	--------------------	---------------	--------------------	--------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

## 7. 調査票



# ライフスタイルに関する世論調査

地点番号

個人番号

			—		
--	--	--	---	--	--

## <まず、最近の暮らしについて伺います>

### [カード1提示]

Q1. あなたのご家庭では、最近1か月間の電気使用量は、東日本大震災前の同じ時期と比較して、増減はありましたか。この中で最も近いものを1つだけお答えください。

1. かなり減った(電力消費量で10%以上)
2. やや減った(電力消費量で5~10%以下程度)
3. ほとんど・まったく変わらない(電力消費量でだいたい同じか5%以下程度)
4. 増えた
5. わからない

### [カード2提示]

Q2. 東日本大震災による原子力発電所の全国的な停止で、昨年、一昨年と各ご家庭に節電の要請がありました。これから数年にわたって同様の状況が続く可能性もあります。

今後の節電への取り組みについて、あなたのご家庭は、この中のどれにあてはまりますか。最も近いものを1つだけお答えください。

1. 昨年、一昨年以上の節電は十分できると思う
2. 昨年、一昨年と同じ程度の節電はできると思う
3. 昨年、一昨年より節電できないと思うが、努力はする
4. 今後、これ以上節電の努力はできないと思う(無理だと思う)
5. わからない

## <環境問題一般について伺います>

### [カード3提示]

Q3. 環境と経済成長の関係について、次の2つの考え方が良く比較されます。あなた個人のお考えはどちらに近いですか。

1. 経済成長が遅くなり、失業が起きても環境を守るべきだ
2. 環境がある程度悪化しても、経済成長を優先し雇用を確保すべきだ
3. わからない





[カード7 提示]

Q 7. あなたは、友人や家族などと、「地球温暖化問題」と「東日本大震災や関連する放射能汚染の問題」のそれぞれについて、どの程度話をしますか。

(a) まず、「地球温暖化問題」についてはいかがですか。

(b) では、「東日本大震災や関連する放射能汚染の問題」についてはいかがですか。

	頻繁に話を する	話を することもある	ほとんど話を しない	わからない
(a) 地球温暖化問題について	1	2	3	4
(b) 東日本大震災や関連する放射能汚染の問題について	1	2	3	4

[カード8 提示]

Q 8. 環境を守るための活動についておうかがいします。これから読みあげる行動は、実際に「行なったことがある」「行なったことはないが、今後は行ないたい」「今後も行ないたいとは思わない」の中では、どれにあてはまりますか。

	行った ことがある	行 ったこと はないが、 今後は行 いたい	今 後も行 いたいとは 思 わ ない	わからない
(a) 環境保護を目的としたグループや団体に寄付をすること	1	2	3	4
(b) 東日本大震災の救援を目的としたグループや団体に寄付をすること	1	2	3	4
(c) 環境保護団体のメンバーになったり、一緒に活動すること	1	2	3	4
(d) 東日本大震災の救援を目的としたグループや団体のメンバーになったり、一緒に活動すること	1	2	3	4
(e) 環境に関する考えや意見を新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNS(Face book や twitter など) にのせること	1	2	3	4
(f) 東日本大震災の復興や放射線に関する考えや意見を新聞に投書したり、自分のホームページやブログ、SNS(Face book や twitter など) にのせること	1	2	3	4

## ＜ここからはエネルギー問題について伺います＞

[カード9提示]

Q9. 現在、電力発電には様々な発電方法・燃料が使われています。これから読み上げる発電方法・燃料のそれぞれについて、あなたはどの程度「好ましい」と思いますか。

	とても好ましい	やや好ましい	どちらともいえない	あまり好ましいと思わない	全く好ましいとは思わない	聞いたことがない	特に意見はない	わからない
(a) 樹木、穀物、人畜の排泄物等によるバイオマス発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(b) 石炭による火力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(c) 天然ガスによる火力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(d) 水力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(e) 原子力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(f) 石油による火力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(g) 太陽・太陽光発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(h) 風力発電	1	2	3	4	5	6	7	8

[カード10提示]

Q10. 20年後から30年後の日本を考えた場合、これから読み上げる発電方法・燃料をそれぞれ評価すると、安定した電力の供給を確実に行うものとして、それぞれどの程度適していると思いますか。

	とても適している	やや適している	どちらともいえない	あまり適していない	全く適していない	聞いたことがない	特に意見はない	わからない
(a) 樹木、穀物、人畜の排泄物等によるバイオマス発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(b) 石炭による火力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(c) 天然ガスによる火力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(d) 水力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(e) 原子力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(f) 石油による火力発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(g) 太陽・太陽光発電	1	2	3	4	5	6	7	8
(h) 風力発電	1	2	3	4	5	6	7	8

[カード11提示]

Q11. では次に、日本国内の電力需要の今後の見通しを考えたときに、国内に今ある原子力発電所の再稼働を進めていくべきだと思いますか、それとも再稼働はすべきではないと思いますか。

1. 再稼働を進めていくべきだと思う
2. どちらかといえば再稼働を進めていくべきだと思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば再稼働すべきではないと思う
5. 再稼働すべきではないと思う
6. 特に意見はない
7. わからない

[カード12提示]

Q12. 日本では、東日本大震災前までは原子力発電の割合が増加傾向にありました。日本国内の電力需要をまかなっていくために、今後の原子力発電所について、今後どのようにしていくべきだと思いますか。次の中からご自身の考えに最も近いものひとつを選んでください。

1. 原子力発電の発電比率はむしろ増加させるべきなので、新たな原子力発電所の新設をみとめていくべきだと思う
2. 原子力発電の発電比率は維持すべきだと思うので、既設の原子力発電所を使い続けて、耐用年数になったら更新していくべきだと思う
3. 原子力発電の発電比率は徐々に低下させるべきだと思うので、既設の原子力発電所を使い続けるが、耐用年数後は廃炉にしていくべきだと思う
4. 現在ある原子力発電所はすべて廃炉にし、更新はすべきではないと思う
5. 上のどれでもない
6. わからない

[カード13提示]

Q13. 今日の日本の原子力発電についての次の文章で、どれが最もあなたの意見に近いですか。

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. 総合的にみて、原子力発電を支持する  | 5. その他 ( ) |
| 2. 総合的にみて、原子力発電に反対だ。  | 6. どれでもない  |
| 3. 賛成なのか反対なのか、決めかねている | 7. わからない   |
| 4. 原子力発電には関心がない       |            |

[カード14提示]

Q14. あなたは、原子力をどのくらい心配していますか。

- |             |               |            |
|-------------|---------------|------------|
| 1. とても心配である | 3. それほど心配ではない | 5. 特に意見はない |
| 2. 心配である    | 4. 全く心配ではない   | 6. わからない   |

[カード15提示]

Q15. あなたがこれまでに、日本の原子力発電について知っていることや聞いたことを総合的に判断して、以下の文章のどれがあなたの考えに最も近いでしょうか。

1. 原子力発電による便益は、そのリスクを大きく上回る
2. 原子力発電による便益は、そのリスクを若干上回る
3. 原子力発電による便益とそのリスクはほぼ同じくらいである
4. 原子力発電によるリスクは、その便益を若干上回る
5. 原子力発電によるリスクは、その便益を大きく上回る
6. どれでもない
7. わからない

[カード16提示]

Q16. ここにあげるそれぞれの意見について、あなたはどのように思いますか。(a) から (i) のそれぞれの意見についてお答えください。

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	特に意見はない	わからない
(a) もし、地球温暖化・気候変動を防げるのなら、新しい原子力発電所の建設をしても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(b) 信頼できるエネルギー供給に役立つのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(c) 他のすべてのエネルギーの選択肢を吟味せずに、原子力発電を地球温暖化・気候変動の解決策と考えるべきではないと思う	1	2	3	4	5	6	7
(d) 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーを普及させるのは、地球温暖化・気候変動を防ぐために原子力発電よりも良いやり方だと思う	1	2	3	4	5	6	7
(e) 地球温暖化・気候変動を防ぐには、原子力発電よりも、ライフスタイルを変えたりエネルギー効率をあげて消費を減少させる方が良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(f) もし、今より安全な原子力発電所が建設できるのなら、新しい原子力発電所を建設しても良いと思う	1	2	3	4	5	6	7
(g) 日本政府は、原子力発電所について、適切な管理や規制をしていると思う	1	2	3	4	5	6	7
(h) 現在の日本の原子力発電に関する法律や規制は原子力発電所を管理するために十分、効力を持つものだと思う	1	2	3	4	5	6	7
(i) 原子力発電所からの放射性廃棄物をどう貯蔵していくかについてわからない状況なので、原子力発電所の運転を中止すべきだと思う	1	2	3	4	5	6	7

<では、ここからは地球環境問題について伺います>

[カード17提示]

Q17. 話は変わりますが、あなたご自身の考えとして、最近、地球上の気候が変わってきていると思いますか。

1. そう思う	2. そうは思わない	3. わからない	→ Q20へ
---------	------------	----------	--------

↓ Q18、Q19へ

【Q17で「1. そう思う」と答えた方に】

[カード18提示]

Q18. 気候がかわってきている原因を考えたとき、あなたの考えに最も近いのは以下のどれでしょうか。

1. 全く自然現象によるものだ
2. おおかたは自然現象に原因がある。
3. 一部は自然現象、また一部は人間の活動に原因がある
4. おおかたは人間の活動に原因がある
5. 全く人間の活動に原因がある
6. 特に意見はない
7. わからない

【Q17で「1. そう思う」と答えた方に】

【カード19提示】

Q19. それでは、地球上の気候が変わってきている原因は何だと思えますか。  
次の中から5つまであげてください。(M. A.)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 大気汚染全般                          |
| 2. 発電する量や電気使用量が増大していること            |
| 3. 森林火災などで木が燃えること                  |
| 4. 石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料の燃焼による二酸化炭素の発生 |
| 5. 自動車、飛行機等の交通量が増えていること            |
| 6. 森林や熱帯林の伐採等                      |
| 7. 地球が温暖化しているから                    |
| 8. 工場等で発生するガス等が大気に放出されること          |
| 9. オゾン層の破壊                         |
| 10. 人間の活動全般の水準が上がってきていること          |
| 11. 自然現象                           |
| 12. 核・原子力エネルギーを使うこと                |
| 13. 海洋・海洋大循環                       |
| 14. 石油、石炭、天然ガスが大気中に放出されること         |
| 15. 太陽からの放射熱                       |
| 16. 火山の噴火、火山活動                     |
| 17. その他 ( )                        |
| 18. わからない                          |

【全員の方に】

【カード20提示】

Q20. あなたは、一般的に言われている、地球温暖化・気候変動の影響の深刻さは、大げさだと思いますか。当てはまるものをお選びください。

- |              |              |            |
|--------------|--------------|------------|
| 1. そう思う      | 4. あまりそう思わない | 6. 特に意見はない |
| 2. まあそう思う    | 5. そう思わない    | 7. わからない   |
| 3. どちらともいえない |              |            |

[カード 2 1 提示]

Q 2 1. それでは、このまま地球上の気候が変化していくことによる影響として深刻なことは何だと思えますか。この中から3つまであげてください。(M. A.)

- |  |
|--|
| 1. ヒートアイランド現象が起きやすくなる                    |
| 2. 生物多様性の減少、種の減少                         |
| 3. 今までより極端な気候が起きる (猛暑など)                 |
| 4. 熱帯地方の病気が日本でも発生するようになる                 |
| 5. 海面上昇                                  |
| 6. 洪水や水不足、干ばつが今よりも多く発生するようになる            |
| 7. オゾン層の破壊                               |
| 8. 農作物の収穫が不安定になるなど農業生産への影響               |
| 9. シベリアなどの凍土層の溶解、アルプスやヒマラヤの氷河がとけだす       |
| 10. 現在よりも強力な台風や竜巻などが起きやすくなる              |
| 11. 熱射病など健康への影響が起きやすくなる                  |
| 12. 雨の降り方が熱帯地方の降り方に近くなる。                 |
| 13. このような変化は一時的なもので、長期的に見た場合、特別に深刻な影響はない |
| 14. その他 ( )                              |
| 15. わからない                                |

[カード 2 2 提示]

Q 2 2. さまざまな環境問題は、一般的に見て、子供世代や孫世代などの将来世代の健康にどのくらい影響を与えていると思えますか。この中から1つを選んでください。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 大きな影響がある | 3. あまり影響はない | 5. わからない |
| 2. やや影響がある  | 4. 影響はない    |          |

[カード 2 3 提示]

Q 2 3. では、東日本大震災を原因とした原発事故とそれに伴う放射性物質の拡散は、一般的に見て子供世代や孫世代などの将来世代の健康にどのくらい影響を与えていると思えますか。この中から1つを選んでください。

- |             |             |          |
|-------------|-------------|----------|
| 1. 大きな影響がある | 3. あまり影響はない | 5. わからない |
| 2. やや影響がある  | 4. 影響はない    |          |

では現在、被災地やそれを取り巻く周辺地域で実施されている、がれきの処理や除染活動について伺います。

[カード 2 4 提示]

Q 2 4. 現在、被災地のがれきの焼却を全国の自治体に呼び掛けてお願いしていることはご存じかと思えます。もし、ご自身が住んでいる自治体で受け入れるかどうかについて考えたとき、あなたの御意見に最も近いのは以下のどれでしょうか。ひとつだけお選び下さい。

1. どれだけ放射能に汚染されているかわからないものだから、被災地で処理すべきだと思う
2. 放射性物質をきちんと測って安全性が確認されたものだから、もっと全国の自治体での処理を進めるべきだと思う
3. 放射性物質をきちんと測って安全性が確認されたものとしても、たとえ低い放射線量であっても放射線の健康影響はまだわかっていない事が多いので、用心のために被災地以外への運び出しは行うべきではないと思う
4. たとえ、少くも放射性物質に汚染されていても、被災地を助けるために、もっと全国の自治体での処理を進めるべきだと思う。
5. 放射性物質に関して安全性が確認されたと言っても、それが信頼できないので、他の自治体は引き受けるべきではないと思う
6. いくら安全性が確認されたといっても、受け入れたことで、当該地域の農産物が売れなくなる、観光客が来なくなる、噂になるなど不利益なことが起こる可能性があるので、引き受けるべきではないと思う
7. 特に意見はない

[カード 2 5 提示]

Q 2 5. 次の (a) から (c) の文章は、正しいと思いますか。それぞれについてお答えください。

	正しい	間違っている	わからない
(a) 放射性物質は放射線を出して別の物質に変わっていくので、自然界に永遠に残るものではない。	1	2	3
(b) 普通に生活していても、地域によって若干の差はあるが、世界の平均で年間2.4ミリシーベルトの放射線を自然界から受けている。	1	2	3
(c) 人工的な放射線と、自然に受ける放射線では、人体への健康影響に差はない。	1	2	3

## ＜ここからは、一般的な社会の状態、考え方について伺います＞

### [カード26提示]

Q26. 世の中のたいいていの方は、他人の役に立とうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

1. 他人の役に立とうとしている	3. その他 ( )
2. 自分のことだけ考えている	4. わからない

### [カード27提示]

Q27. 世の中のたいいていの方は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

1. 信頼できると思う	3. その他 ( )
2. 常に用心した方がよい	4. わからない

### [カード28提示]

Q28. ここにあげる (a) から (c) の考えについて、あなたはどのように思いますか。

	そう思う	そう思う	どちらかと言えば いえない	どちらとも そう思わない	どちらかと言えば そう思わない	わからない
(a) 自分一人では環境問題の解決に大したことはできない	1	2	3	4	5	6
(b) 現代の技術は、環境問題をうまく解決してくれると思う	1	2	3	4	5	6
(c) 人が生きていく上では、人と人とのつながりがお金や肩書きより大事だと思う	1	2	3	4	5	6

### [カード29提示]

Q29. 国が心がけることについて、もっとも重要だと思うのはどれですか。また、2番目に重要だと思うのはどれですか。次の1から4の中からお選びください。

	もっとも重要 と思うもの	2番目に重要 と思うもの
1. 国の秩序を維持すること	1	1
2. 政府の決定に対して、国民にもっと発言できるようにすること	2	2
3. 物価の上昇をおさえること	3	3
4. 言論の自由を守ること	4	4
5. わからない	5	5

## フェースシート

<では、最後に今後の分析のために、ご回答されている方ご自身について伺います>

F 1. ( 性 )

1. 男性	2. 女性
-------	-------

[カード F 2 提示]

F 2. (年 齢) あなたの年齢を次の中からお選びください。

1. 20～24歳	4. 35～39歳	7. 50～54歳	10. 65～69歳
2. 25～29歳	5. 40～44歳	8. 55～59歳	11. 70歳以上
3. 30～34歳	6. 45～49歳	9. 60～64歳	

[カード F 3 提示]

F 3. (教 育) あなたの最終学歴をお教えてください。

1. (新) 中学 ((旧) 小・高小)
2. (新) 高校 ((旧) 中学)
3. (新) 短大・大学 ((旧) 高 専 大)
4. その他 ( )

[カード F 4 提示]

F 4. ご自宅は、持ち家ですか。

1. 持ち家	3. その他 ( )
2. 持ち家ではない	4. わからない

[カード F 5 提示]

F 5. ご家族に、18歳未満の方はいますか。(M. A.)

1. 乳幼児がいる (2歳未満)	4. 中学生がいる
2. 幼児がいる (2歳以上の未就学児)	5. 高校生がいる
3. 小学生がいる	6. いずれもない

**[カードF 6 提示]**

F 6. 次にお仕事について、おたずねします。あなたは職業をお持ちですか。このように分けると、どれにあたりますか。

1. 自分で会社などを経営もしくは運営している（従業員あり）または、それら組織の役員である
2. 自営業である（従業員はいない、もしくは無給の研修生もしくは家族のみ）
3. 常勤の被雇用者（ただし課長・部長に相当する以上の管理職だが役員ではない）
4. 常勤の被雇用者（ただし課長・部長に相当する以上の管理職ではない）
5. 無給で家の仕事を手伝っている
6. パート・アルバイトや派遣社員
7. 専業主婦（パート・アルバイトや派遣社員ではない）
8. 学生
9. 定年退職した（「11」に該当する場合はそちらへ）
10. 求職中である、失業中である
11. 年金、配当など
12. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
13. わからない

**[カードF 7 提示]**

F 7. では、前の設問で「1」から「6」にお答えになった方にうかがいます。業種はこの中のどれにあてはまりますか。

1. 農林漁業
2. 製造業・建設業
3. 小売業、卸売業
4. 交通、運輸業
5. 金融業
6. 通信、IT、コンピューター関連業（SE等含む）
7. 政府官公庁、公企業体
8. シンクタンク、コンサルタント
9. 弁護士、公認会計士、医師、教員、等専門的技術的職業
10. サービス業（ホテル、レストラン、美容院など）
11. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
12. わからない





[カードF12提示]

F12. 次のそれぞれの役割は、お宅ではどなたが主に担っていますか。それぞれについて1つずつお答えください。

	いつも自分	だいたい自分	夫婦で同じくらい、または共同で	だいたい配偶者 (またはパートナー)	いつも配偶者 (またはパートナー)	夫婦以外の人	該当しない	わからない
(1)大型の家電、大型の家具などの購入	1	2	3	4	5	6	7	8
(2)食料や日用品の買い物	1	2	3	4	5	6	7	8
(3)食事の準備もしくは片付け	1	2	3	4	5	6	7	8
(4)ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7	8

F13へ

F14へ

【F12で「1いつも自分」～「5いつも配偶者（またはパートナー）」と回答された方に】

[カードF13提示]

F13. 買い物をする際には、いろいろと考えることがあるかと思います。東日本大震災後、ここにあげる事柄について、あなたは買い物をする際にどの程度考慮しますか。

	している	そうする ときが多い	たまに している	全くして いない	該当しない	わからない
(a) 家電製品などを購入する際に、省エネ性能を考慮する	1	2	3	4	5	6
(b) 食料を購入する際に、産地を確認する	1	2	3	4	5	6
(c) 農産物を購入する際に、放射能汚染がありそうな産地を避ける	1	2	3	4	5	6

[カードF14提示]

F14. ここ3年間をおよそ平均してみたときに、お宅（ご家族の収入の合計）の一年間の平均的な収入は、税込みでいくらでしたか。臨時収入、副収入、ご家族全員の収入の合計に近いものを、この中から1つ選んでください。

1. 200万円未満	6. 600～700万円未満	11. 1200～1500万円未満
2. 200～300万円未満	7. 700～800万円未満	12. 1500～2000万円未満
3. 300～400万円未満	8. 800～900万円未満	13. 2000万円以上
4. 400～500万円未満	9. 900～1000万円未満	14. 答えたくない・わからない
5. 500～600万円未満	10. 1000～1200万円未満	

F 1 5. 最後に、本調査の調査結果の概要版を希望する方には後日郵送する予定です。ご希望されますか。

1. 希望する →F 1 5-1 へ	2. 希望しない →質問はここで終了です。
--------------------	-----------------------

F 1 5-1. ご希望される場合、宛先は挨拶はがきの送付先と同様でよろしいでしょうか。

1. 良い →質問はここで終了です。	2. 違う →F 1 5-2 へ
--------------------	------------------

F 1 5-2. 送付先住所をお教えてください。

郵便番号	—
住所（都道府県から）	
宛先氏名	

ありがとうございました。いただきました個人情報は、概要版発送のみに使用し、国立環境研究所へは提出いたしません。また概要版発送後には、いただきました個人情報は破棄します。

質問は以上で終了です。ご協力ありがとうございました。



ライフスタイルに関する世論調査報告書

---

独立行政法人 国立環境研究所  
環境計画研究室 担当 青柳みどり  
〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2  
029-850-2392

